

「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査（就学前児童）

1 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「世田谷区子ども・子育て支援事業計画」の策定のための全国の自治体で共通項目による調査に、世田谷区子ども条例の推進計画である「世田谷区子ども計画（第2期）」の策定のための独自の調査項目を加えて、今後の区の子育て支援策等の検討に資することを目的とする。

2 調査対象

世田谷区に居住する0歳～5歳（平成25年4月1日現在）の児童の保護者
各年齢1,000人ずつ 計6,000人

3 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

4 調査方法

郵送配布・郵送回収

5 調査時期

平成25年8月12日～9月2日

6 回収数・回収率

発送・配布数	有効回収数 (有効回収率)
6,000	3,685 (61.4%)

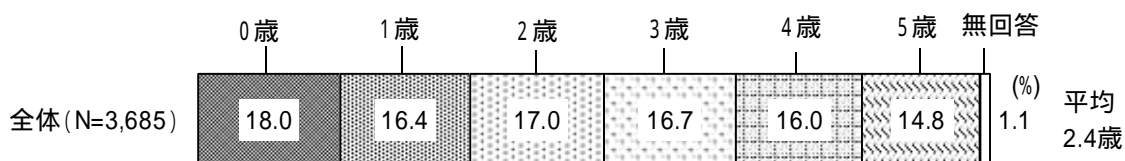
1 就学前児童調査

(1) 子どもと家族の状況

年齢(問1)

回答者の子どもの年齢は、「0歳(18.0%)」「2歳(17.0%)」「3歳(16.7%)」「1歳(16.4%)」の順となっている。平均年齢は2.4歳であった(図表1-1-1)。

図表1-1-1 年齢(全体)



子どもの人数と末子の年齢(問2)

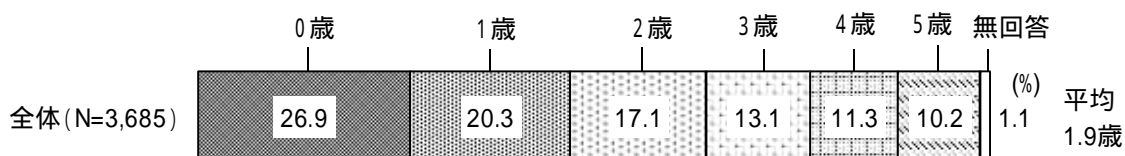
子どもの人数は、「2人(44.6%)」「1人(42.4%)」「3人(10.1%)」の順となっている。平均人数は1.7人であった(図表1-1-2)。

図表1-1-2-1 子どもの人数(全体)



末子の年齢は、「0歳(26.9%)」「1歳(20.3%)」「2歳(17.1%)」「3歳(13.1%)」の順となっている。平均年齢は、1.9歳であった(図表1-1-2-2)。

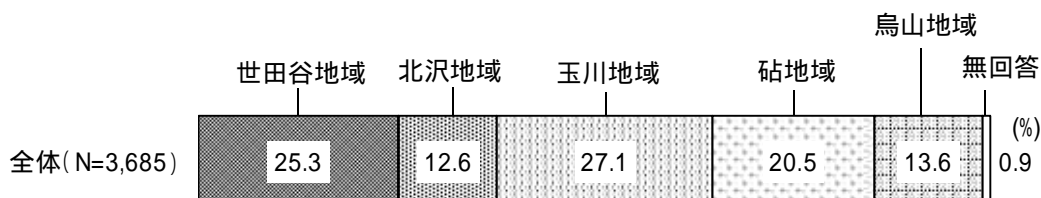
図表1-1-2-2 末子の年齢(全体)



居住地域（問3）

回答者の居住地域は、「玉川地域（27.1%）」、「世田谷地域（25.3%）」、「砧地域（20.5%）」、「烏山地域（13.6%）」、「北沢地域（12.6%）」の順となっている（図表1-1-3）。

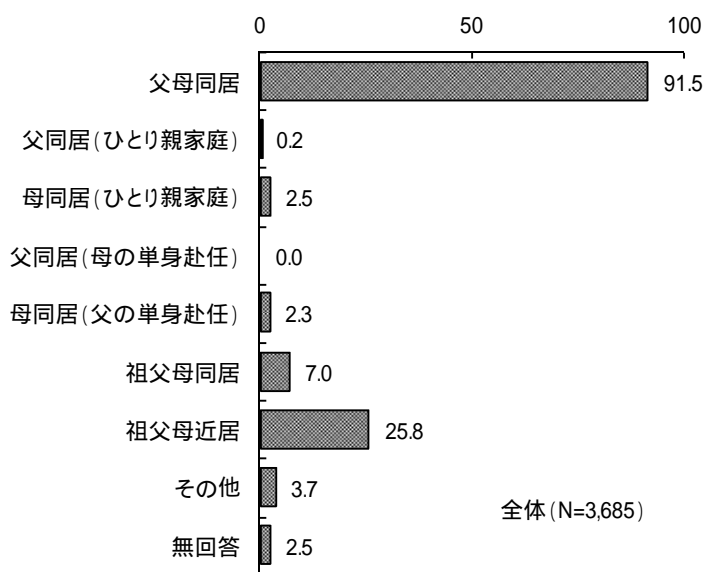
図表1-1-3 居住地域（全体）



両親・祖父母の近居・同居（問4）

近居・同居の状況をたずねたところ、「父母同居（91.5%）」が最も多く、これに「祖父母近居（25.8%）」、「祖父母同居（7.0%）」が続いている（図1-1-4）。

図表1-1-4 近居・同居の状況（全体：複数回答）



子育てを主に行っている人（問5）

子育てを主に行っている人は、「父母ともに（51.2%）」が、「主に母親（47.3%）」を上回った（図表1-1-5）。

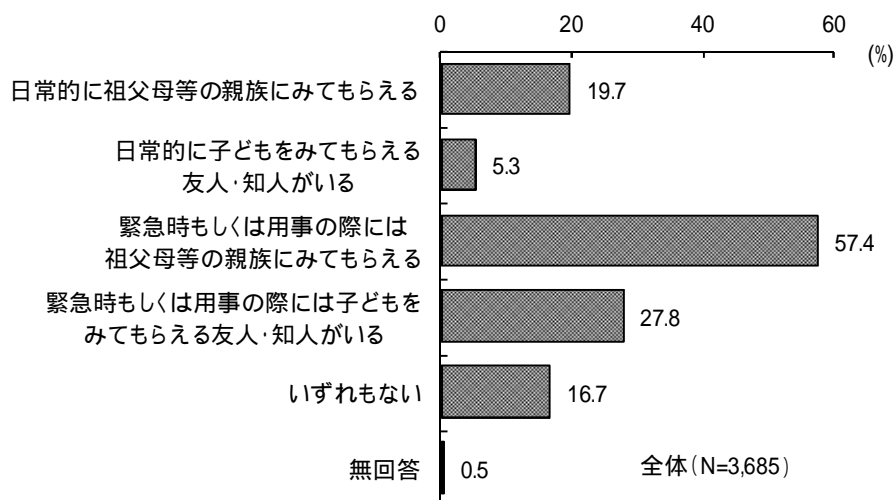
図表1-1-5 子育てを主に行っている人（全体）



祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況（問6）

祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況をたずねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる（57.4%）」が最も多く、これに「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる（27.8%）」が続いた（図表1-1-6）。

図表1-1-6 祖父母等の親族、友人・知人に子どもを預かってもらえる状況
（全体：複数回答）



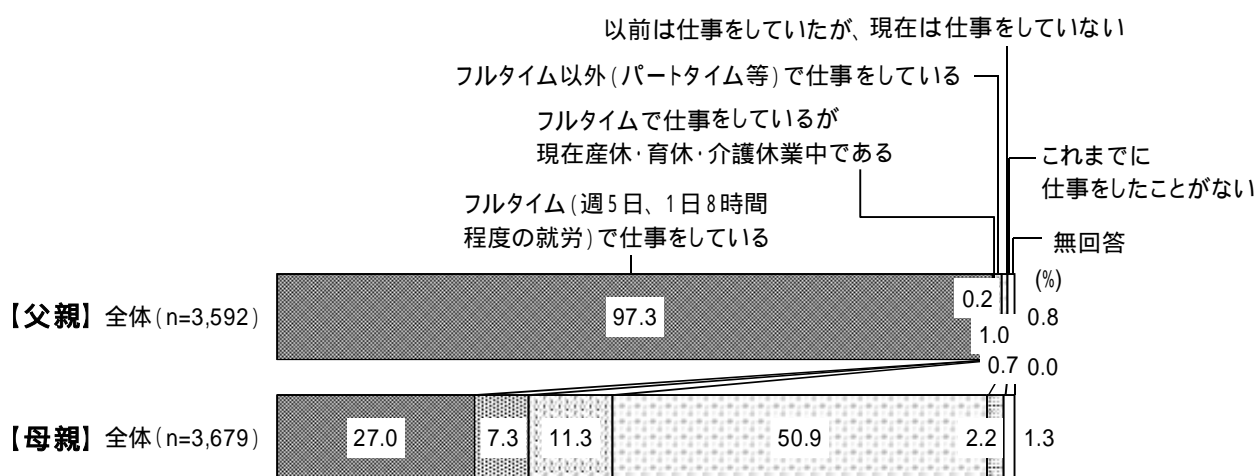
(2) 保護者の就労状況

就労状況 (問7)

就労状況

就労状況は、父親では「フルタイム(週5日、1日8時間程度の就労)で仕事をしている(97.3%)」が大多数であるが、母親では「以前は仕事をしていたが、現在は仕事をしていない(50.9%)」が最も多く、これに「フルタイム(週5日、1日8時間程度の就労)で仕事をしている(27.9%)」が続いている(図表1-2-1-)。

図表1-2-1- 就労状況(全体)

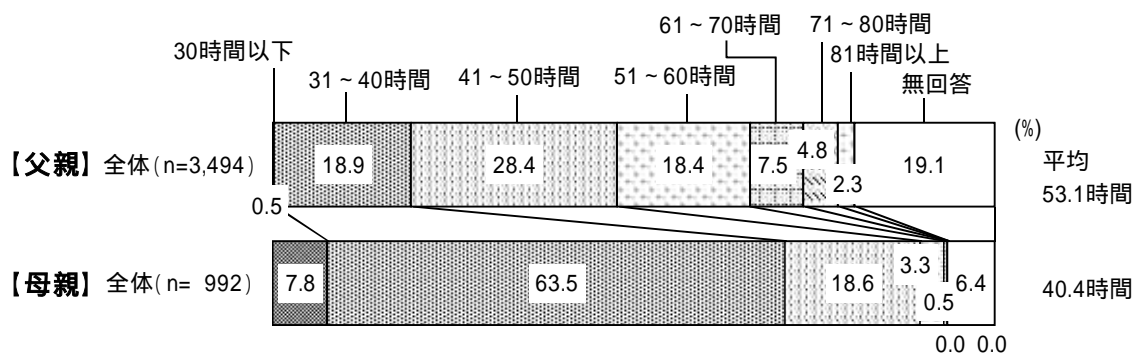


フルタイムで働いている人の1週あたりの就労時間

フルタイムで働いている人の1週間あたりの就労時間は、父親では「41~50時間(28.4%)」が最も多く、平均では53.1時間である。母親では「31~40時間(63.5%)」が最も多く、平均では40.4時間となっている(図表1-2-1-)。

図表1-2-1- 1週あたりの就労時間(全体)

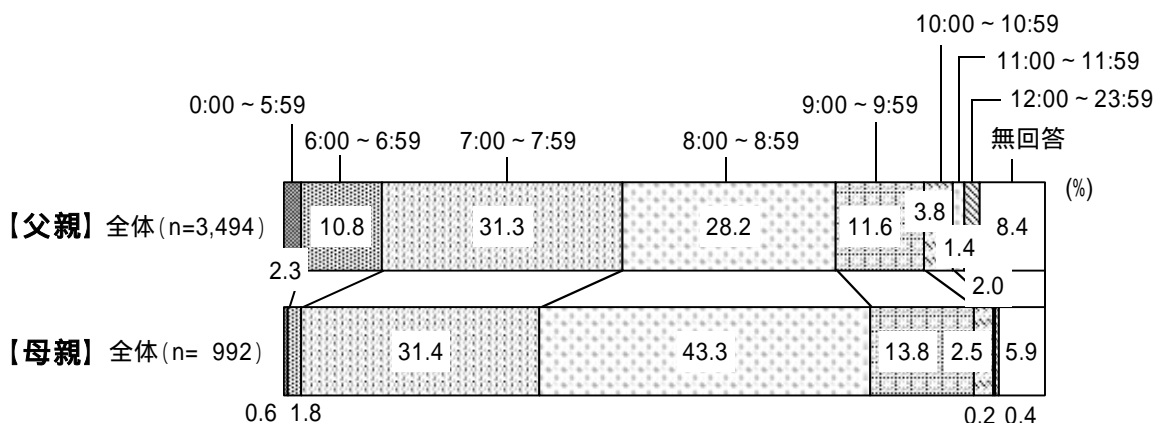
<フルタイムで働いていると回答した人>



フルタイムで働いている人の家を出る時間

フルタイムで働いている人の家を出る平均的な時間は、父親では、「7:00～7:59(31.3%)」が最も多く、これに「8:00～8:59(28.2%)」が続いている。母親では、「8:00～8:59(43.3%)」が最も多く、これに「7:00～7:59(31.4%)」が続いている(図表1-2-1-)。

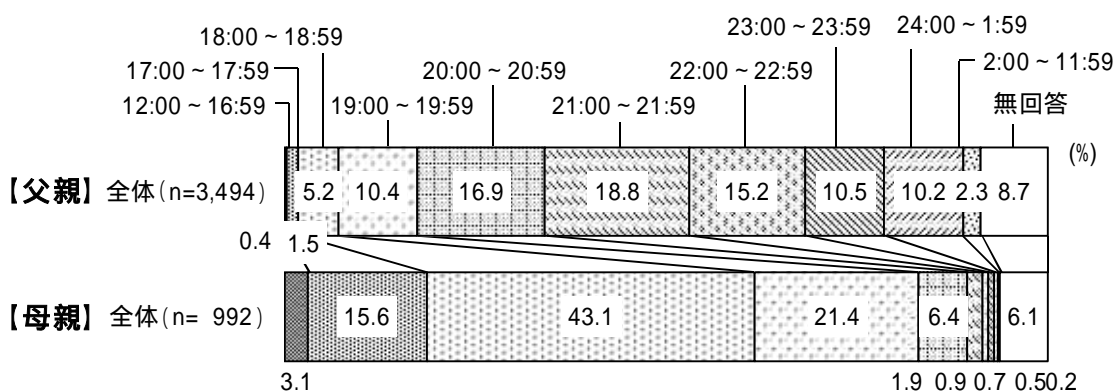
図表1-2-1- 家を出る平均的な時間(全体)
 <フルタイムで働いていると回答した人>



フルタイムで働いている人の帰宅時間

フルタイムで働いている人の平均的な帰宅時間は、父親では、「21:00～21:59(18.8%)」が最も多く、これに「20:00～20:59(16.9%)」が続いている。母親では、「18:00～18:59(43.1%)」が最も多く、これに「19:00～19:59(21.4%)」が続いている(図表1-2-1-)。

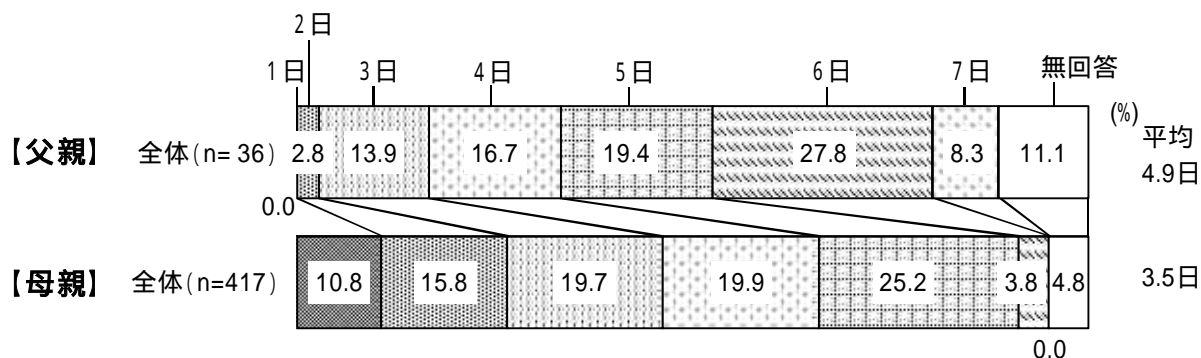
図表1-2-1- 平均的な帰宅時間(全体)
 <フルタイムで働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数

フルタイム以外で働いている人の1週間あたりの就労日数は、父親では「6日(27.8%)」,
「5日(19.4%)」の順で多く、平均は4.9日であった。母親では、「6日(25.2%)」,
「5日(19.9%)」が多く、平均は3.5日であった(図表1-2-1-)。

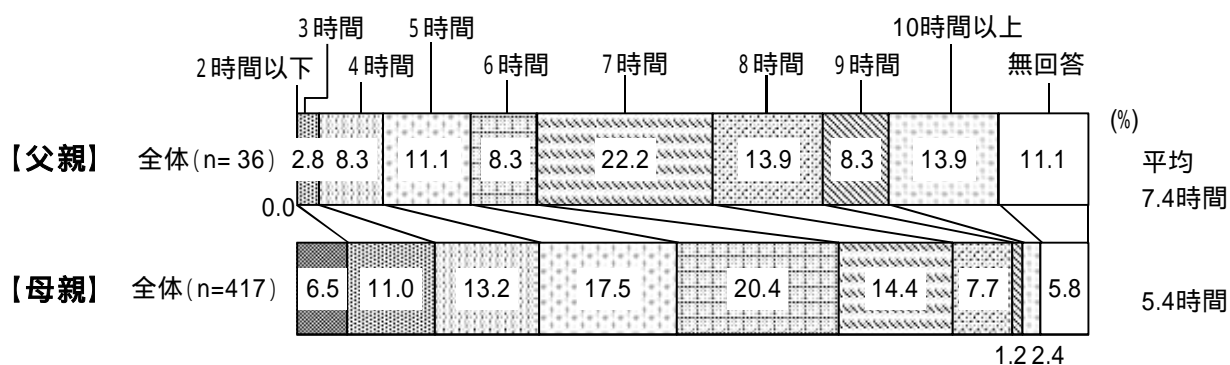
図表1-2-1- 1週間あたりの就労日数(全体)
<フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間

フルタイム以外で働いている人の1日あたりの就労時間は、父親では「7時間(22.2%)」,
「8時間(13.9%)」の順で多く、平均は7.4時間であった。母親では、「6時間(20.4%)」,
「5時間(17.5%)」が多く、平均は5.4時間であった(図表1-2-1-)。

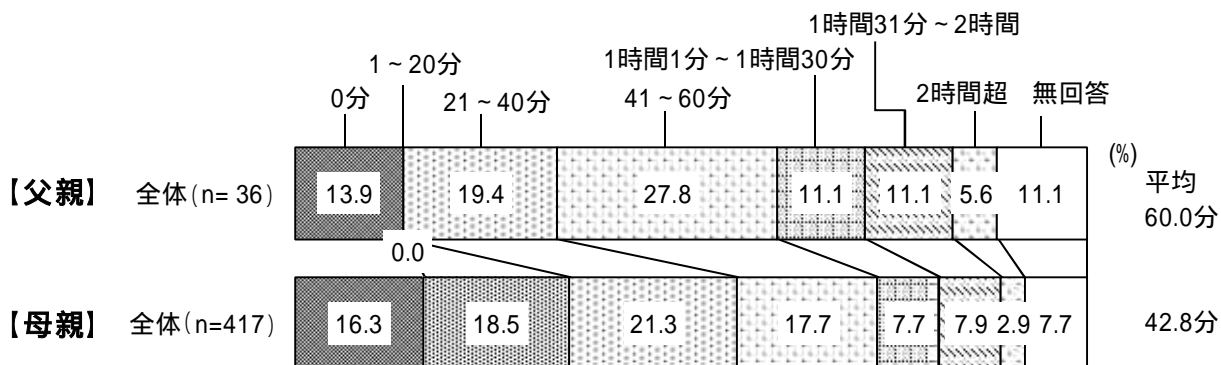
図表1-2-1- 1日あたりの就労日数(全体)
<フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間

フルタイム以外で働いている人の往復通勤時間は、父親では、「41～60分（27.8%）」、「21～40分（19.4%）」の順で多く、平均は60.0分である。母親では、「21～40分（21.3%）」、「1～20分（18.5%）」の順で多く、平均は42.8分であった（図表1-2-1- ）。

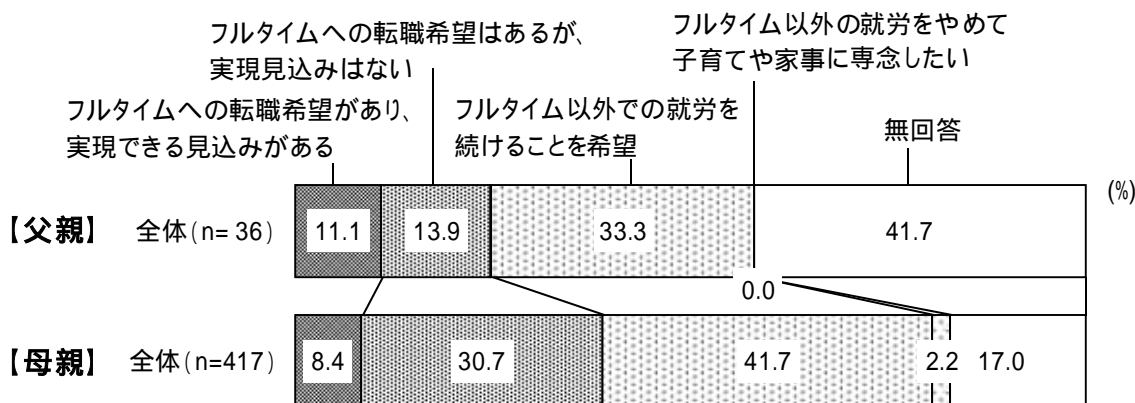
図表1-2-1- 往復通勤時間（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望

フルタイム以外で働いている人のフルタイムへの転職希望は、父親では無回答が多かったが、有効回答では「フルタイム以外での就労を続けることを希望（33.3%）」、「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない（13.9%）」の順で多く、母親では「フルタイム以外での就労を続けることを希望（41.7%）」、「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない（30.7%）」が多くなっている（図表1-2-1- ）。

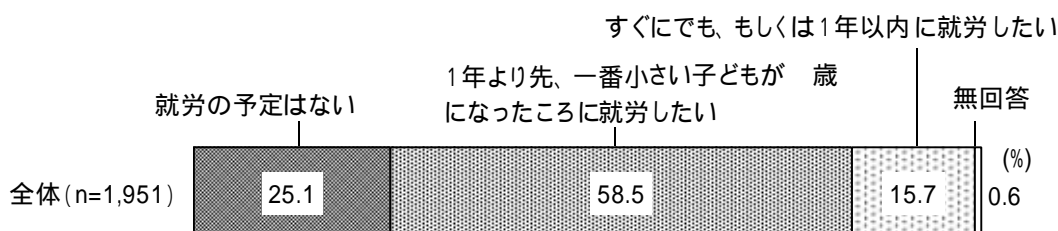
図表1-2-1- フルタイムへの転職希望（全体）
 <フルタイム以外で働いていると回答した人>



母親の就労希望（問7-1）

母親が現在就労していないと回答した人に対して、母親の就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したい（58.5%）」、「就労の予定はない（25.1%）」などが多かった（図表1-2-2- ）。

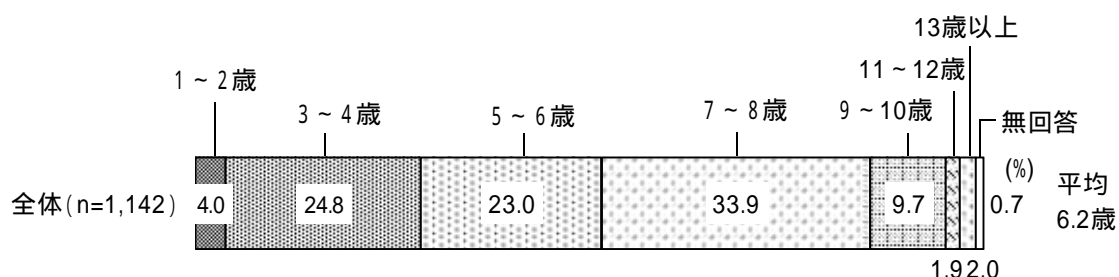
図表1-2-2- 母親の就労希望（全体）
 < 母親が現在就労していないと回答した人 >



就労したいと思う末子の年齢

1年より先に就労希望の人の就労時の子どもの年齢は、「7～8歳（33.9%）」が最も多く、これに「5～6歳（24.8%）」、「3～4歳（23.0%）」が続いている（図表1-2-2- ）。

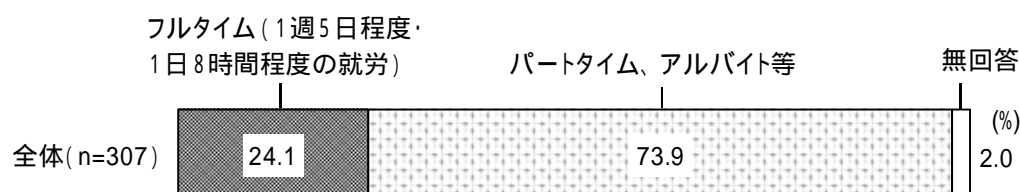
図表1-2-2- 就労したいと思う末子の年齢（全体）
 < 1年より先、一番小さい子どもが 歳になったところに就労したいと回答した人 >



希望する就労形態

1年以内に就労希望の人に対して、希望する就労形態をたずねたところ、「パートタイム、アルバイト等（73.9%）」、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）（24.1%）」の順であった（図表1-2-2- ）。

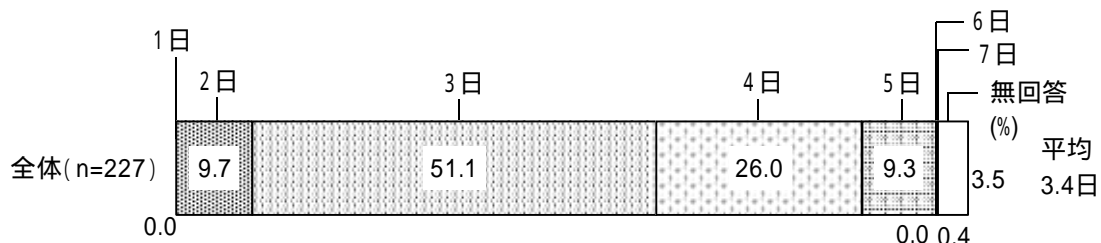
図表1-2-2- 希望する就労形態（全体）
 < すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した人 >



希望する1週あたりの就労日数

母親が現在就労していないケースで、「パートタイム、アルバイト等」を選んだ人の希望する就労1週あたりの日数は、「3日(51.1%)」、「4日(26.0%)」、「2日(9.7%)」の順で多かった(図表1-2-2-)。

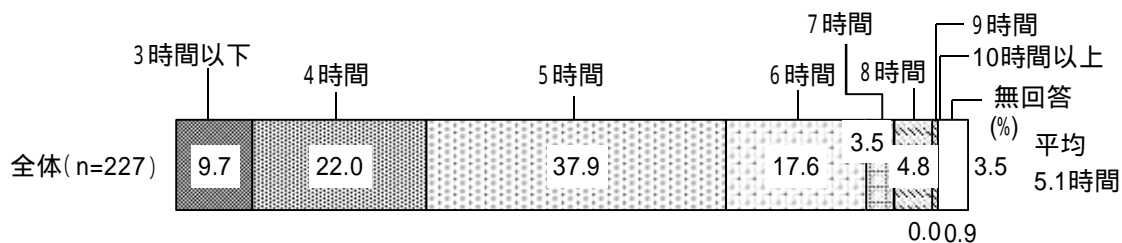
図表1-2-2- 希望する1週あたりの就労日数(全体)
 <パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人>



希望する1日あたりの就労時間

同様のケースで、希望する1日あたりの就労時間は、「5時間(37.9%)」、「4時間(22.0%)」、「6時間(17.6%)」などが多く、平均希望時間は5.1時間であった(図表1-2-2-)。

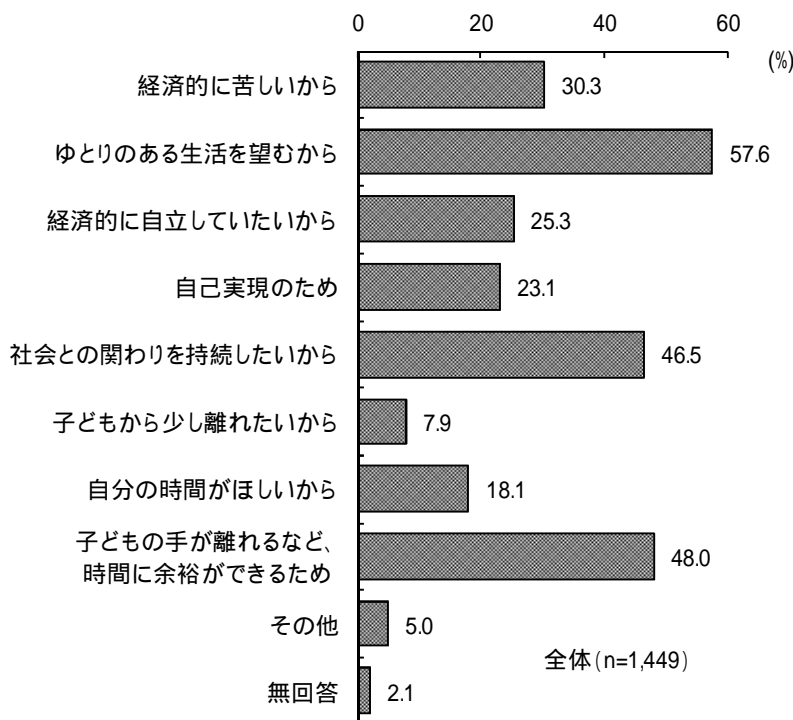
図表1-2-2- 希望する1日あたりの就労時間(全体)
 <パートタイム、アルバイト等の就労形態を希望する人>



就労を希望する理由（問7 - 2）

就労希望のある母親に対してその理由をたずねたところ、「ゆとりのある生活を望むから（57.6%）」、「子どもの手が離れるなど、時間に余裕ができるため（48.0%）」、「社会との関わりを持続したいから（46.5%）」の順が多かった（図表1 - 2 - 3）。

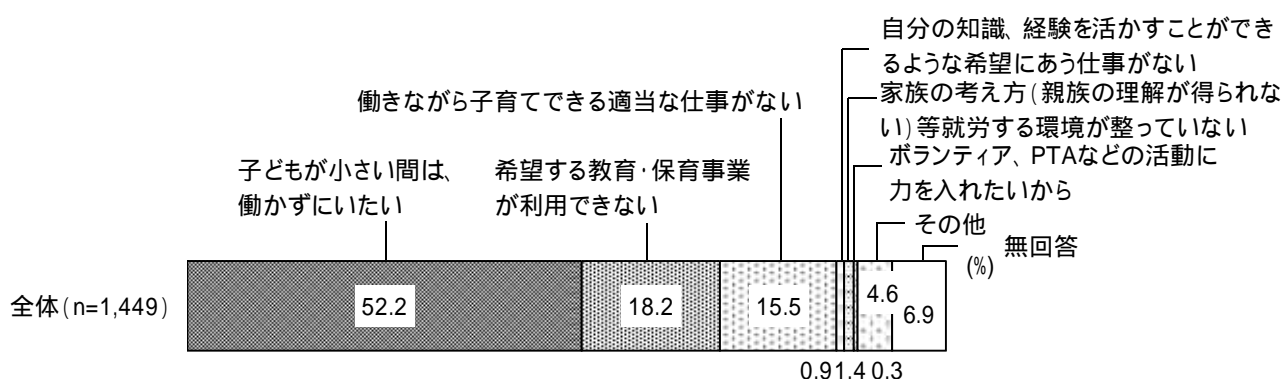
図表1 - 2 - 3 就労を希望する理由（全体：複数回答）
 < 母親で現在就労していないが、就労を希望している人 >



就労希望があっても、現在働いていない理由（問7 - 3）

就労希望があっても、現在働いていない理由としては、「子どもが小さい間は、働かずにいたい（52.2%）」、「希望する教育・保育事業が利用できない（18.2%）」、「働きながら子育てできる適当な仕事がない（15.5%）」の順が多かった（図表1 - 2 - 4）。

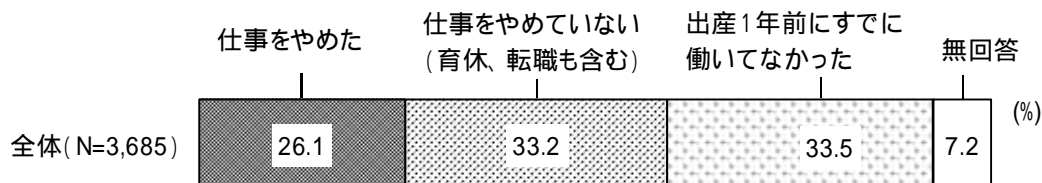
図表1 - 2 - 4 就労希望があっても、現在働いていない理由（全体）
 < 母親で現在就労していないが、就労を希望している人 >



出産前後1年間の離職の経験（問8）

出産前後1年間の離職の経験をたずねたところ、「出産1年前にすでに働いていなかった（33.5%）」、「仕事をやめていない（育休、転職も含む）（33.2%）」、「仕事をやめた（26.1%）」の順であった（図表1-2-5）。

図表1-2-5 出産前後1年間の離職の経験（全体）

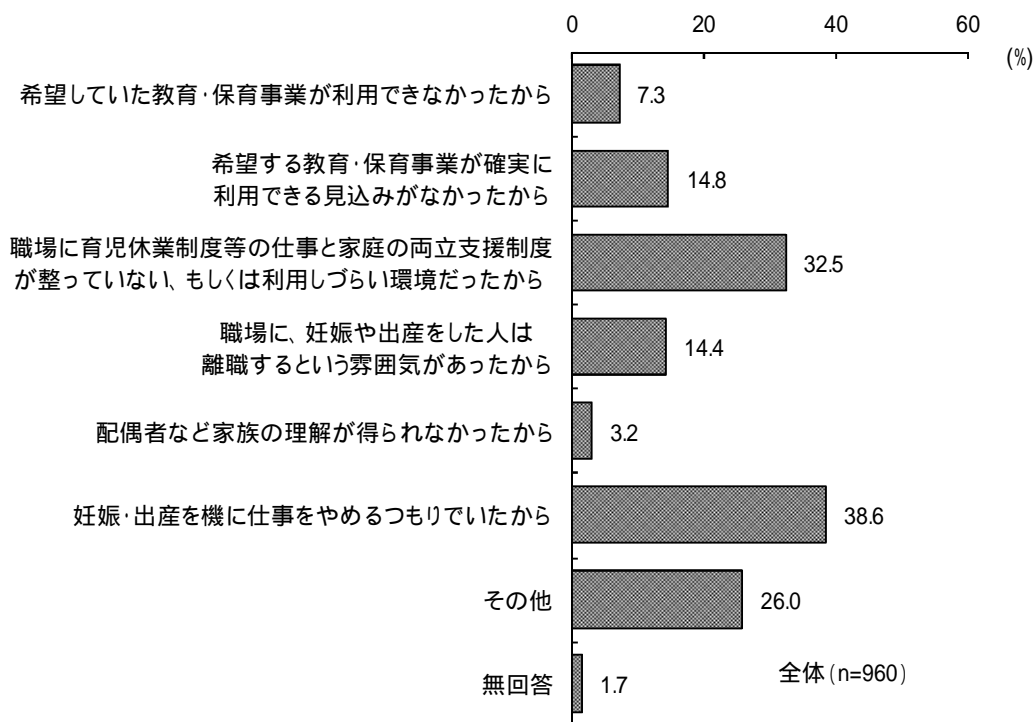


仕事をやめた理由（問8-1）

仕事をやめた理由としては、「妊娠・出産を機に仕事をやめるつもりでいたから（38.6%）」、「職場に育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていない、もしくは利用しづらい環境だったから（32.5%）」、「その他（26.0%）」などが多かった（図表1-2-6）。

図表1-2-6 仕事をやめた理由（全体：複数回答）

< 仕事をやめたと回答した人 >

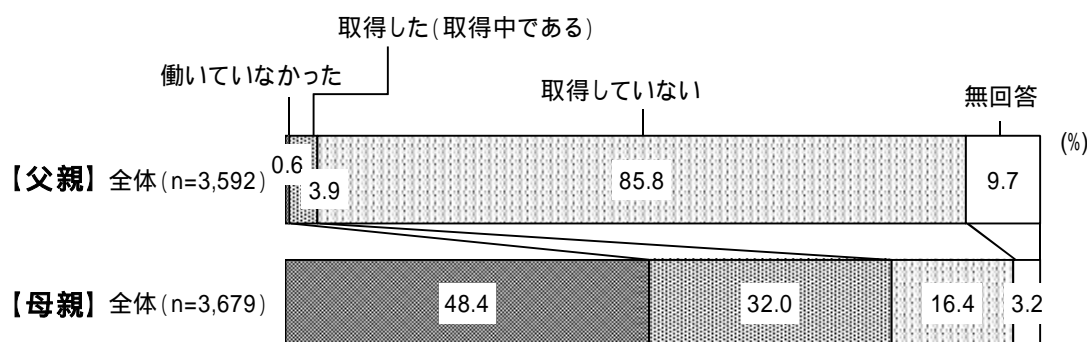


(3) 育児休業制度・短時間勤務制度

あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無（問9）

あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無は、父親では「取得していない（85.8%）」が大多数であるが、母親では「働いていなかった（48.4%）」、「取得した（取得中である）（32.0%）」、「取得していない（16.4%）」の順となった（図表1-3-1- ）。

図表1-3-1- あて名の子どもが生まれた時の両親の育児休業の取得の有無（全体）

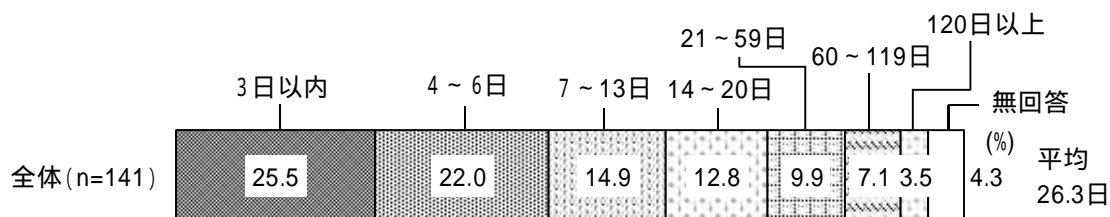


父親が取得した場合の取得期間

父親が育児休業を取得した場合の取得期間は「3日以内（25.5%）」、「4～6日（22.0%）」、「7～13日（14.9%）」、「14～20日（12.8%）」の順で多かった。平均は26.3日である（図表1-3-1- ）。

図表1-3-1- 父親が取得した場合の取得期間（全体）

<父親が育児休業を取得したと回答した人>

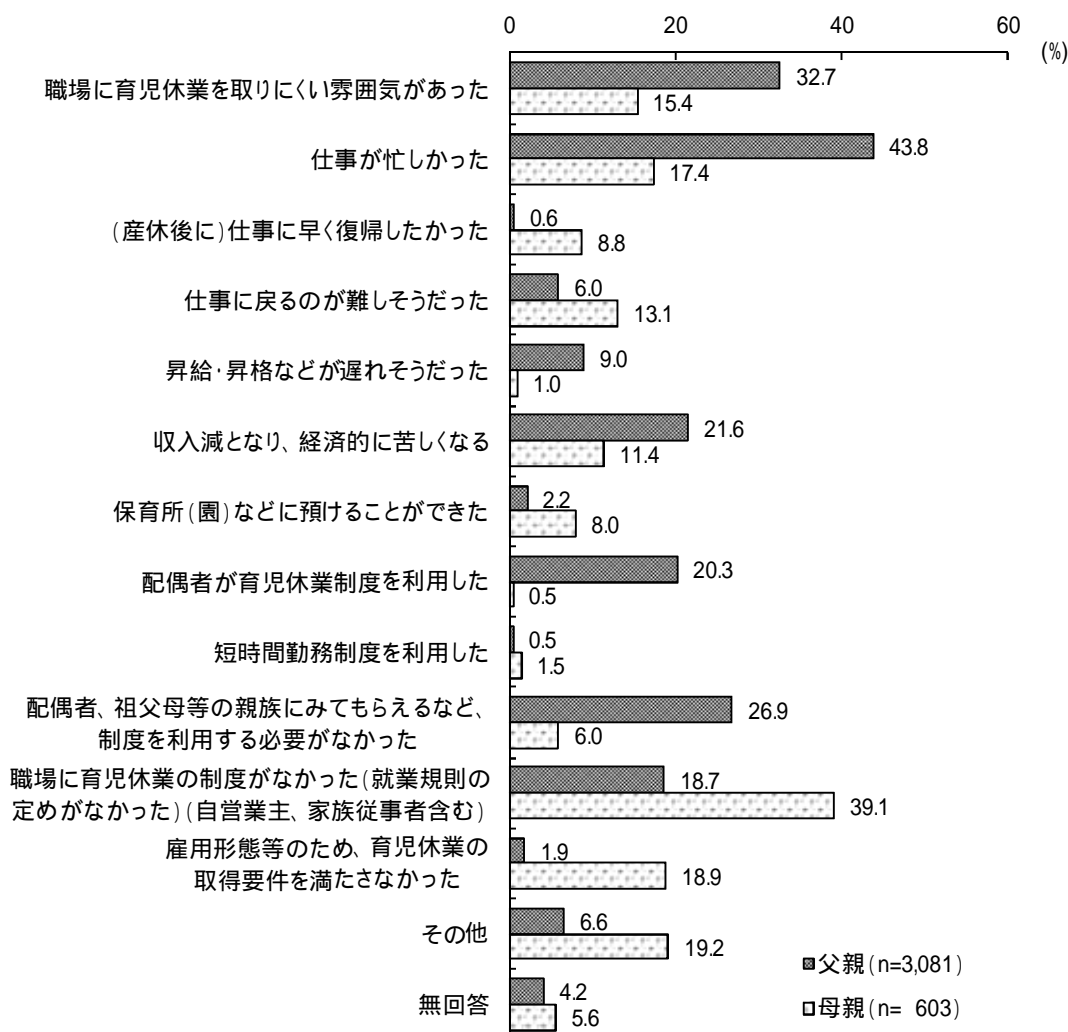


取得してない場合はその理由

育児休業を取得してない場合の理由は、父親では、「仕事が忙しかった(43.8%)」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(32.7%)」、「配偶者、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった(26.9%)」などが多く、母親では、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則の定めがなかった)(自営業主、家族従業者含む)(39.1%)」、「雇用形態等のため、育児休業の取得要件を満たさなかった(18.9%)」、「仕事が忙しかった(17.4%)」などが多かった(図表1-3-1-)。

図表1-3-1- 取得してない場合の理由(全体：複数回答)

< 育児休暇を取得していないと回答した人 >

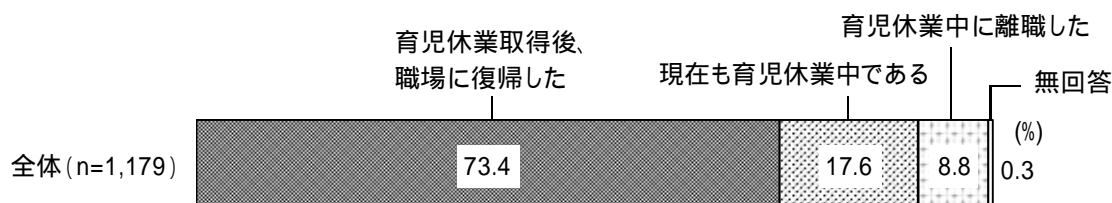


育児休業取得後職場復帰の有無（問9 - 1）

母親が取得した（取得中）の人の育児休業取得後職場復帰の有無は、「育児休業取得後、職場に復帰した（73.4%）」、「現在も育児休業中である（17.6%）」、「育児休業中に離職した（8.8%）」の順で多くなっている（図表1 - 3 - 2）。

図表1 - 3 - 2 育児休業取得後職場復帰の有無（全体）

< 母親が育児休業を取得したと回答した人 >



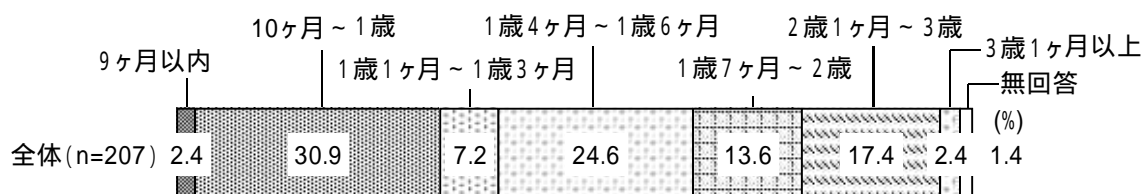
希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間

（問9 - 2）

現在育児休業中の人に対して、希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間をたずねたところ、「10ヶ月～1歳（30.9%）」、「1歳4ヶ月～1歳6ヶ月（24.6%）」、「2歳1ヶ月～3歳（17.4%）」などが多かった（図表1 - 3 - 3）。

図表1 - 3 - 3 希望する時期に必ず子どもを預ける事業があった場合の育児休業取得期間（全体）

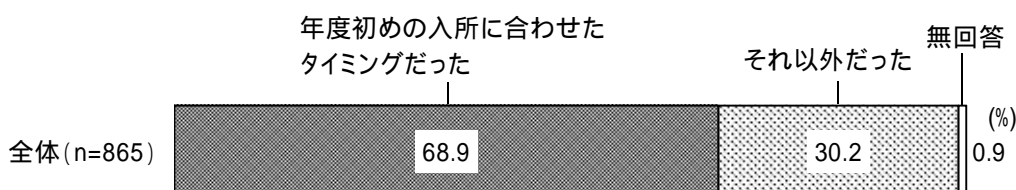
< 母親で現在育児休業中と回答した人 >



職場復帰のタイミングは年度初めか（問9 - 3）

育児休業取得後、職場復帰した人に対して、職場復帰のタイミングは年度初めかどうかをたずねたところ、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった（68.9%）」が「それ以外だった（30.2%）」を上回った（図表1 - 3 - 4）。

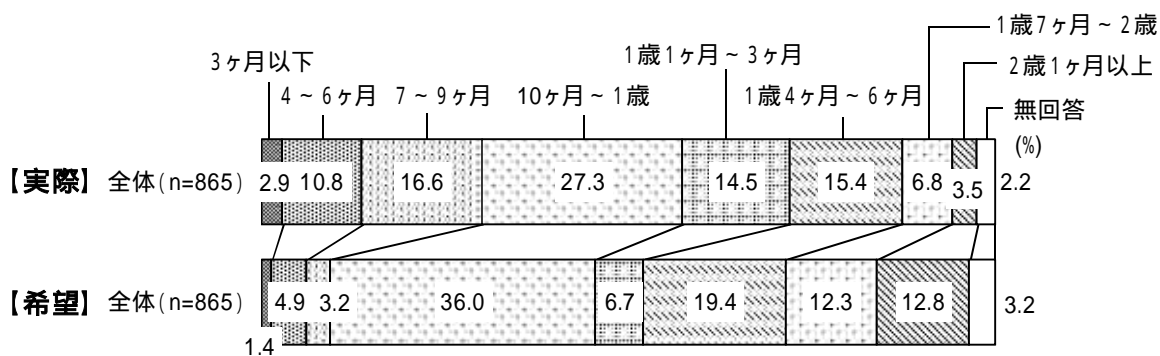
図表1 - 3 - 4 職場復帰のタイミングは年度初めか（全体）
 < 母親で育児休業取得後、職場復帰したと回答した人 >



職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望（問9 - 4）

育児休業取得後、職場復帰した人に対して、職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望をたずねたところ、実際より希望の方が全体的に長い期間になっている。実際では合計すると9ヶ月未満が30.3%だが、希望では9.5%となっている（図表1 - 3 - 5）。

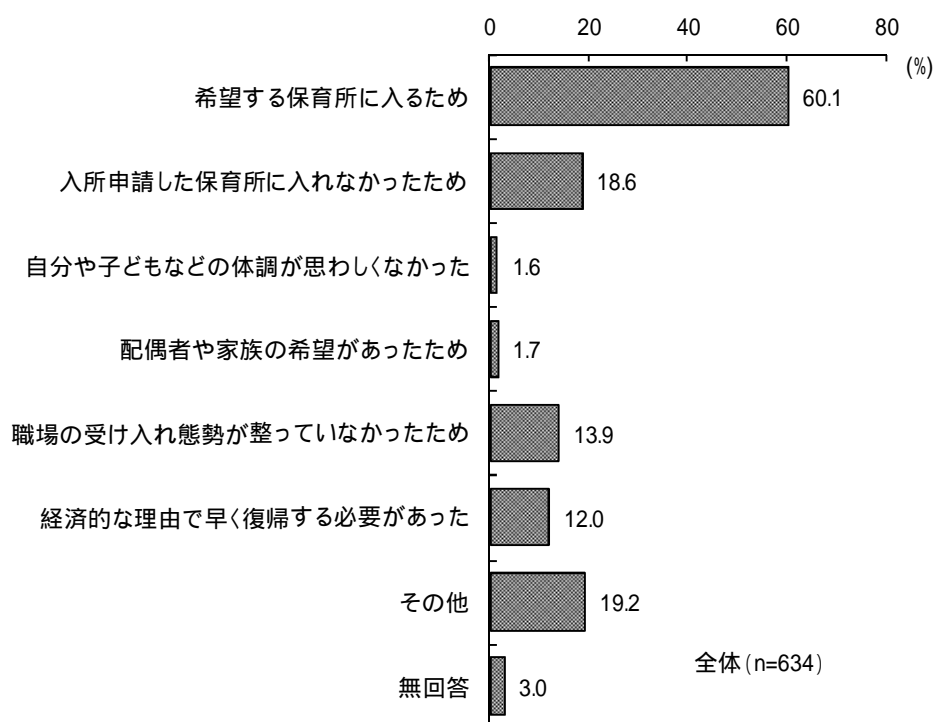
図表1 - 3 - 5 職場復帰したときの子どもの年齢の実際と希望（全体）
 < 母親で育児休業取得後、職場復帰したと回答した人 >



希望の時期に復帰しなかった理由（問9 - 5）

育児休業取得後、職場復帰したが、実際と希望の時期が違う人に対して、希望の時期に復帰しなかった理由を複数回答でたずねたところ、「希望する保育所に入るため(60.1%)」、「入所申請した保育所に入れなかったため(18.6%)」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため(13.9%)」、「経済的な理由で早く復帰する必要がある(12.0%)」などが多かった(図表1 - 3 - 6)。

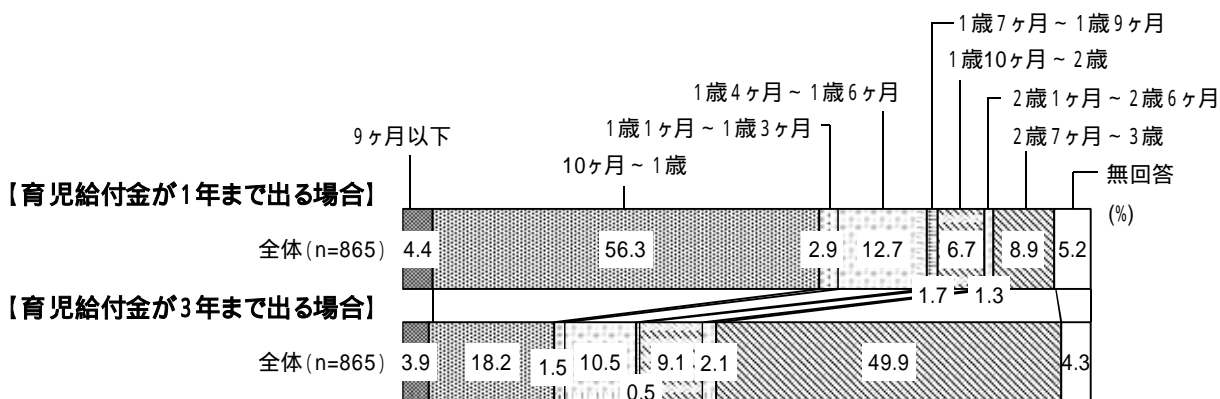
図表1 - 3 - 6 希望の時期に復帰しなかった理由（全体：複数回答）
 < 母親で育児休業取得後、職場復帰したが、実際と希望の時期が違う人 >



育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢（問9-6）

育児休業取得後、職場復帰した人に対して、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢をたずねたところ、『育児給付金が1年まで出る場合』では「10ヶ月～1歳（56.3%）」が最も多く、『育児給付金が3年まで出る場合』では「2歳7ヶ月～3歳（49.9%）」が最も多かった（図表1-3-7）。

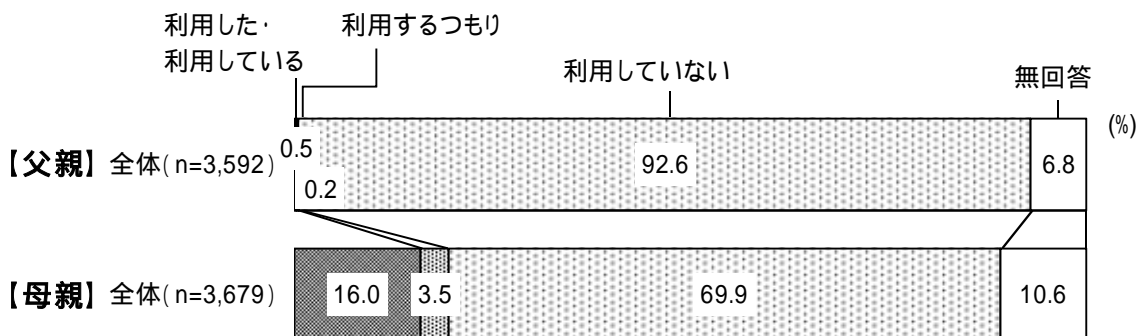
図表1-3-7 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望として取りたかった子どもの年齢（全体）＜母親で育児休業取得後、職場復帰したと回答した人＞



あて名の子どもについて短時間勤務制度の利用の有無（問10）

あて名の子どもについて短時間勤務制度の利用の有無は、父親では「利用していない（92.6%）」が大多数を占めた。母親では「利用していない（69.9%）」が最も多いが「利用した・利用している（16.0%）」、「利用するつもり（3.5%）」とする人もいる（図表1-3-8）。

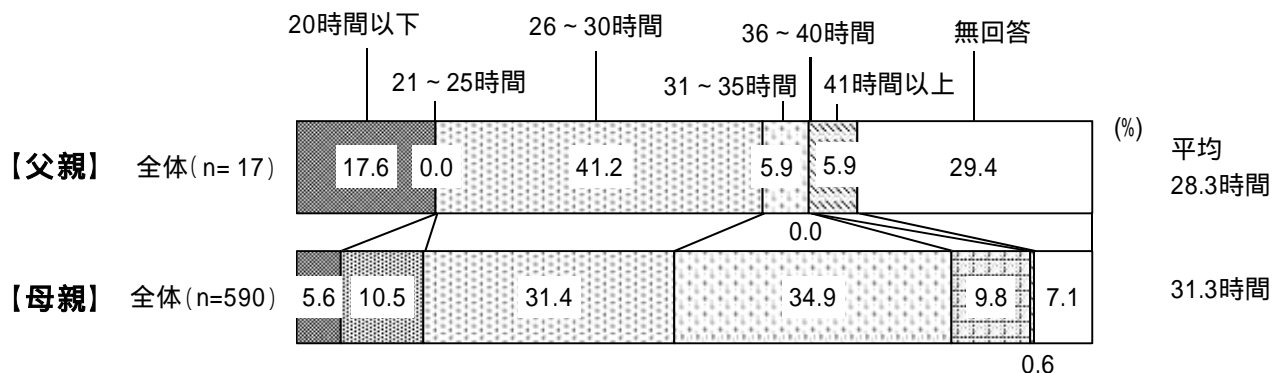
図表1-3-8 あて名の子どもについて短時間勤務制度の利用の有無（全体）



短時間勤務制度を利用した場合の1週間当たりの勤務時間

短時間勤務制度を利用した場合の1週間当たりの勤務時間の回答としては、父親では、「26～30時間（41.2%）」、「20時間以下（17.6%）」などが多く、平均28.3時間であった。母親では、「31～35時間（34.9%）」、「26～30時間（31.4%）」などが多く、平均31.3時間であった（図表1-3-8- ）。

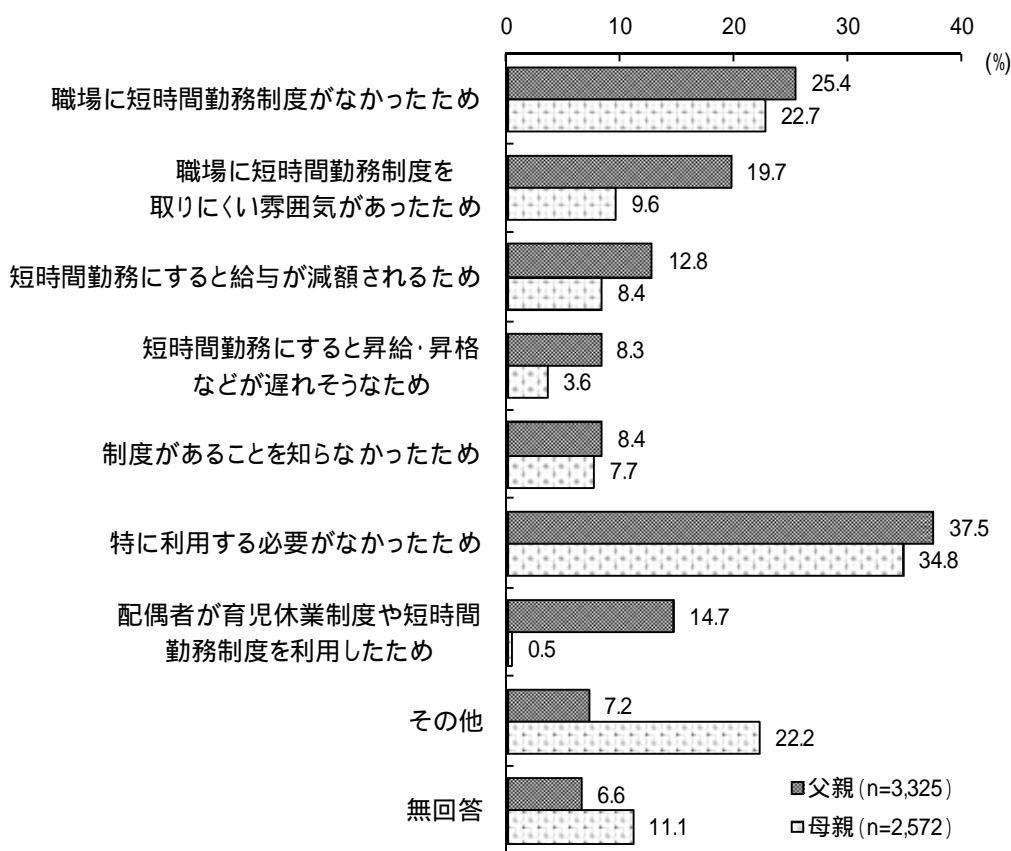
図表1-3-8- 短時間勤務制度を利用した場合の1週間当たりの勤務時間（全体）
 <短時間勤務制度を利用した・利用していると回答した人>



短時間勤務制度を利用していない理由

短時間勤務制度を利用していない理由として多かったのは、父親では「特に利用する必要がなかったため（37.5%）」、「職場に短時間勤務制度がなかったため（25.4%）」、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため（19.7%）」などであり、母親では「特に利用する必要がなかったため（34.8%）」、「職場に短時間勤務制度がなかったため（22.7%）」、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため（9.6%）」などであった（図表 1 - 3 - 8 - ）。

図表 1 - 3 - 8 - 短時間勤務制度を利用していない理由（全体：複数回答）
 <短時間勤務制度を利用していないと回答した人>



(4) 定期的な教育・保育事業の利用

希望する教育・保育事業、0～5歳の各年齢別（問11）

年齢ごとに希望する教育・保育事業について、対象児童の実年齢以上のときの希望についてたずねた。「希望しない」の割合は、0歳で44.3%、1歳で31.8%、2歳で27.3%、3歳以降では10%以下になっている。希望する事業の中では、0～2歳では「認可保育所」が最も多く、「認証保育所」、「認定こども園【保育園枠・長時間利用】」が続いている。3歳では「認可保育所」が最も多く、「私立幼稚園（通常の就園時間）」、「認定こども園【保育園枠・長時間利用】」が続いている。4～5歳では「私立幼稚園（通常の就園時間）」が最も多く、「認可保育所」、「幼稚園の預かり保育の定期的利用」が続いている（図表1-4-1- ）。

図表1-4-1- 希望する教育・保育事業（全体：複数回答）

<対象児童の実年齢以上のときの希望>

(%)

	認可保育所 (区立、私立保育園)	認証保育所	保育室	保育ママ	家庭的保育事業	【認定こども園 幼稚園枠・短時間利用】	【認定こども園 保育園枠・長時間利用】	区立幼稚園 (通常の就園時間)	私立幼稚園 (通常の就園時間)	幼稚園の預かり保育の定期的利用	事業所内保育施設	ベビーシッター	その他	希望しない	無回答
0歳 (n= 662)	42.4	20.5	10.4	5.3	4.2	2.0	15.7	1.2	1.1	1.1	2.9	5.3	1.4	44.3	4.1
1歳 (n=1,265)	52.4	23.9	11.8	7.0	5.8	2.5	19.1	1.1	1.0	1.3	3.6	4.0	2.9	31.8	3.5
2歳 (n=1,892)	53.0	22.9	11.3	6.5	5.9	3.1	20.5	1.7	2.3	2.6	3.6	4.7	3.2	27.3	4.1
3歳 (n=2,508)	43.2	15.1	3.9	2.2	2.6	14.3	27.4	12.4	36.2	22.4	3.2	3.1	1.6	8.7	4.3
4歳 (n=3,099)	39.8	12.6	2.1	1.6	1.8	12.6	25.7	21.9	41.0	28.8	3.3	3.5	1.1	4.6	4.5
5歳 (n=3,685)	38.8	11.9	2.1	1.6	1.7	12.3	25.4	21.5	41.8	30.8	3.4	3.7	1.2	0.7	7.1

事業を希望する上で重視する条件、0～5歳の各年齢別

年齢ごとに事業を希望する上で重視する条件について、対象児童の実年齢以上のときの希望についてたずねた。どの年齢でも「教員・保育者の質が高い」が最も多くなっている。第2位は0～2歳では「自宅からの距離が近い」、3～5歳では「教育・保育の内容や方針が希望にあう」となっている（図表1-4-1- ）。

図表1-4-1- 事業を希望する上で重視する条件
 <対象児童の実年齢以上のときの希望>

	希望にあう教育・保育の内容や方針が	教員・保育者の質が高い	施設や設備が充実している	園庭が有る	保育時間が利用希望にあう	認可されている施設である	保育料が適正である	親の負担の程度が軽い	親が運営・行事などに関わる機会が多い	自宅からの距離が近い	利用する駅や職場からの距離が近い	その他	無回答
0歳 (n= 344)	28.2	48.5	24.1	11.0	37.8	15.7	40.4	11.0	0.6	48.3	6.7	2.0	3.2
1歳 (n= 821)	31.8	51.9	23.5	15.0	37.4	14.6	36.1	9.3	0.1	49.1	6.5	1.9	2.4
2歳 (n=1,298)	32.6	48.8	21.7	18.4	37.1	15.2	36.6	9.8	0.2	46.6	5.3	1.5	3.0
3歳 (n=2,184)	47.9	53.9	26.2	25.8	29.4	11.5	27.1	9.2	0.9	43.0	3.7	1.2	1.9
4歳 (n=2,817)	49.8	53.6	25.8	27.2	27.8	10.4	27.7	9.5	1.5	42.4	3.2	1.0	2.0
5歳 (n=3,398)	50.3	53.8	25.6	27.2	27.0	10.5	26.9	9.8	1.9	41.4	3.1	0.9	2.3

(%)

定期的に利用したい教育・保育事業の1週当たり希望日数、0～5歳の各年齢別

年齢ごとに定期的にご利用したい教育・保育事業の1週当たり希望日数について、対象児童の実年齢以上のときの希望についてたずねた。0～2歳では「5日」が60%台であり、平均日数はいずれの年齢も4.4日となっている。3～5歳では「5日」が80%を超えて、平均日数は3歳で4.9日、4・5歳で5.0日となっている（図表1-4-1- ）。

図表1-4-1- 定期的にご利用したい教育・保育事業の1週当たり希望日数
<対象児童の実年齢以上のときの希望>

		(%)								
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均日数
0歳	(n= 344)	5.2	8.4	7.3	4.1	61.0	7.8	0.0	6.1	4.4日
1歳	(n= 821)	5.4	7.1	8.8	3.7	62.4	8.0	0.0	4.8	4.4日
2歳	(n=1,298)	5.5	6.5	10.1	3.5	61.6	7.6	0.0	5.2	4.4日
3歳	(n=2,184)	1.3	2.0	3.0	2.3	80.1	7.0	0.0	4.2	4.9日
4歳	(n=2,817)	0.7	1.0	1.6	1.7	83.6	7.2	0.0	4.3	5.0日
5歳	(n=3,398)	0.7	1.2	1.9	1.5	83.0	7.0	0.1	4.5	5.0日

定期的にご利用したい教育・保育事業の1日あたり希望時間、0～5歳の各年齢別

年齢ごとに定期的にご利用したい教育・保育事業の1日あたり希望時間について、対象児童の実年齢以上のときの希望についてたずねた。0～2歳では「8時間」、「9時間」、「10時間」で10%を超えており、特に「10時間」では20%台となっている。3～5歳は「5時間」、「6時間」、「8時間」、「10時間」で10%を超えている（図表1-4-1- ）。

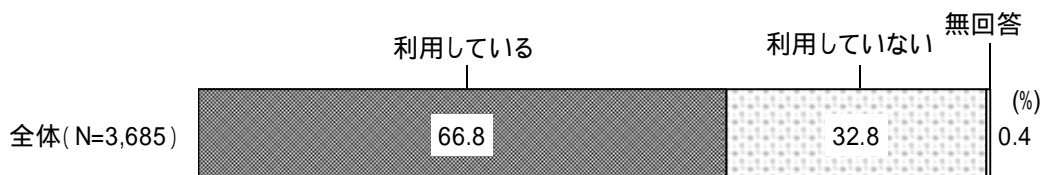
図表1-4-1- 定期的にご利用したい教育・保育事業の1日あたり希望時間

		(%)															
		2時間以下	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	無回答	平均時間
0歳	(n= 344)	3.5	4.1	3.5	4.4	7.0	4.4	17.7	13.1	25.3	6.7	3.5	0.0	0.3	0.0	6.7	8.2時間
1歳	(n= 821)	1.1	3.5	5.4	4.0	6.3	4.6	19.5	13.6	22.2	8.6	5.0	0.2	0.1	0.1	5.6	8.3時間
2歳	(n=1,298)	1.2	3.8	5.6	5.9	7.2	4.5	18.3	12.7	21.3	7.8	4.9	0.3	0.1	0.2	6.2	8.2時間
3歳	(n=2,184)	0.5	1.6	3.1	14.7	13.4	6.5	16.3	9.8	16.6	6.9	4.5	0.4	0.1	0.1	5.6	7.8時間
4歳	(n=2,817)	0.4	1.3	2.4	15.6	15.7	6.9	16.3	8.9	15.6	6.1	4.4	0.4	0.1	0.1	5.8	7.7時間
5歳	(n=3,398)	0.5	1.6	2.3	15.7	16.2	7.1	15.9	8.9	14.9	6.1	4.2	0.4	0.1	0.2	5.9	7.7時間

月単位での教育・保育事業の利用状況（問 12）

月単位での教育・保育事業の利用状況は、「利用している（66.8%）」が「利用していない（32.8%）」を上回った（図表 1 - 4 - 2）。

図表 1 - 4 - 2 月単位での教育・保育事業の利用状況（全体）

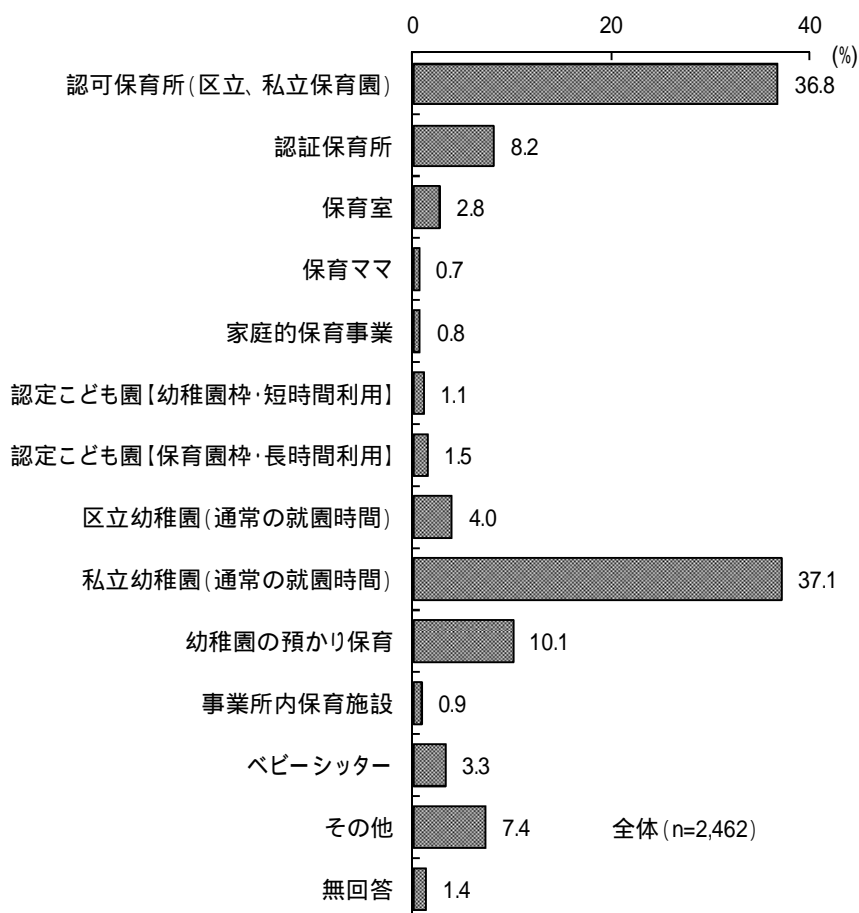


教育・保育事業の種類（問 12 - 1）

教育・保育事業の定期的な利用がある人に対して、利用している教育・保育事業の種類をたずねたところ、「私立幼稚園（通常の就園時間）（37.1%）」、「認可保育所（区立、私立保育園）（36.8%）」、「幼稚園の預かり保育（10.1%）」、「認証保育所（8.2%）」の順で多かった（図表 1 - 4 - 3）。

図表 1 - 4 - 3 教育・保育事業の種類（全体：複数回答）

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>



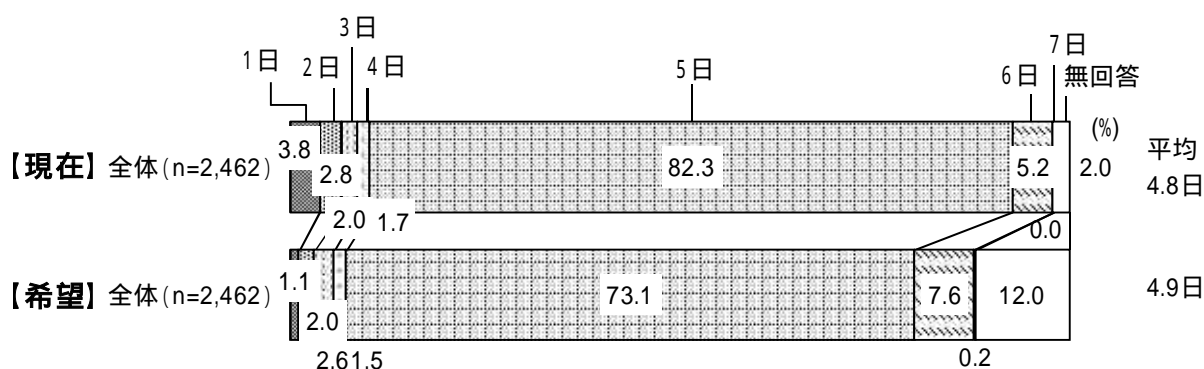
定期的に利用している教育・保育事業の利用状況（問 12 - 2）

1週間あたりの利用日数

定期的に利用している教育・保育事業の1週間あたりの利用日数は、現在、希望とも「5日（それぞれ 82.3%、73.1%）」が最も多かった。「週6日」とする回答は希望（7.6%）が現在（5.2%）を上回った（図表 1 - 4 - 4 - ）。

図表 1 - 4 - 4 - 1週間あたりの利用日数（全体）

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

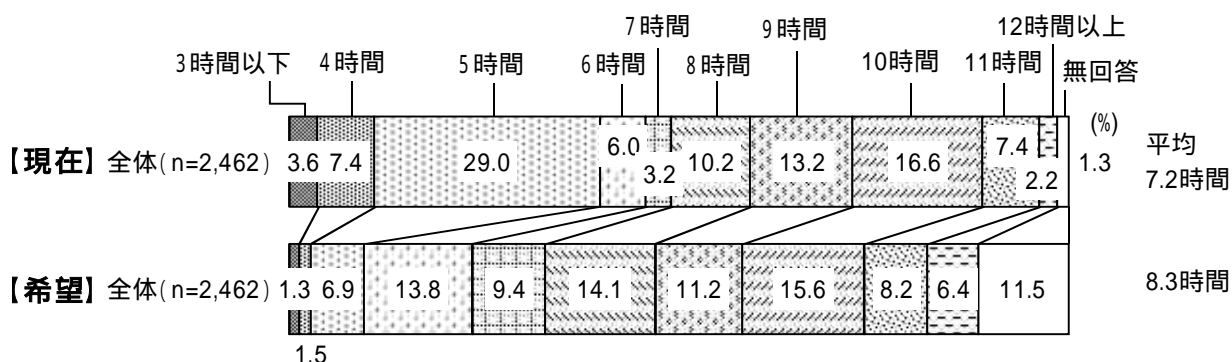


1日あたりの利用時間

定期的に利用している教育・保育事業の1日あたりの利用時間は、現在は「5時間（29.0%）」が最も多く、これに「10時間（16.6%）」「9時間（13.2%）」が続いており、平均は7.2時間となっている。希望時間については、「10時間（15.6%）」「8時間（14.1%）」「6時間（13.8%）」などが多く、平均は8.3時間であった（図表 1 - 4 - 4 - ）。

図表 1 - 4 - 4 - 1日あたりの利用時間（全体）

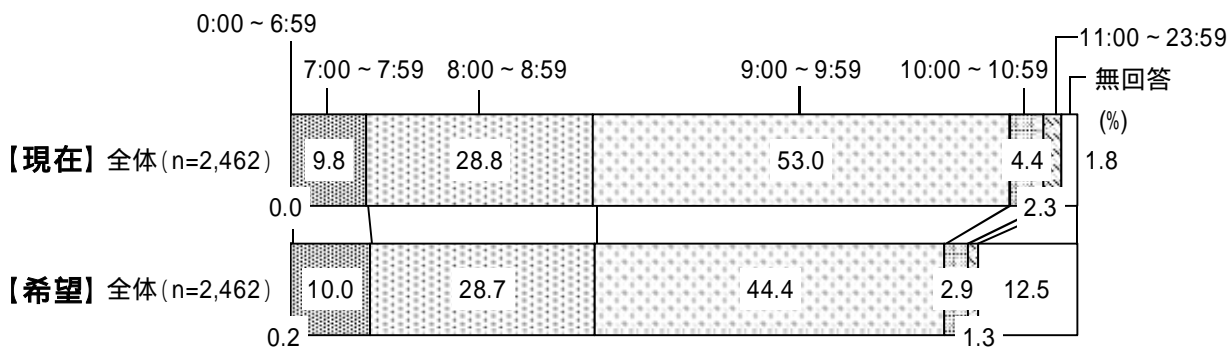
<教育・保育事業の定期的な利用がある人>



教育・保育の利用開始時間

教育・保育の利用開始時間は、現在も希望も「9:00～9:59(それぞれ53.0%、44.4%)」、「8:00～8:59(それぞれ28.8%、28.7%)」、「7:00～7:59(それぞれ9.8%、10.0%)」の順であった(図表1-4-4-)

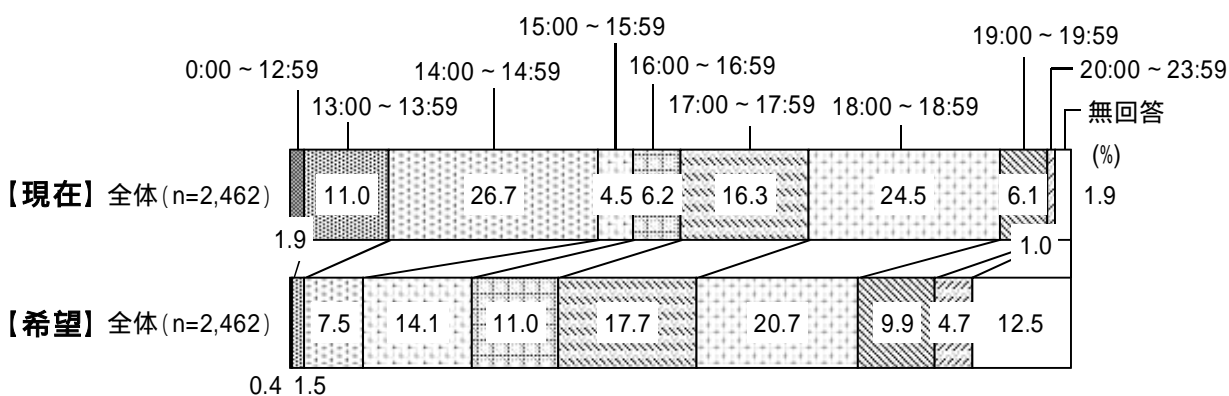
図表1-4-4- 教育・保育の利用開始時間(全体)
 <教育・保育事業の定期的な利用がある人>



教育・保育の利用終了時間

教育・保育の利用終了時間は、現在は「14:00～14:59(26.7%)」、「18:00～18:59(24.5%)」、「17:00～17:59(16.3%)」などが多く、希望は「18:00～18:59(20.7%)」、「17:00～17:59(17.7%)」、「15:00～15:59(14.1%)」などが多い。希望が現在を3ポイント以上上回るのは、「15:00～15:59」、「16:00～16:59」、「19:00～19:59」、「20:00～23:59」である(図表1-4-4-)

図表1-4-4- 教育・保育の利用終了時間(全体)
 <教育・保育事業の定期的な利用がある人>

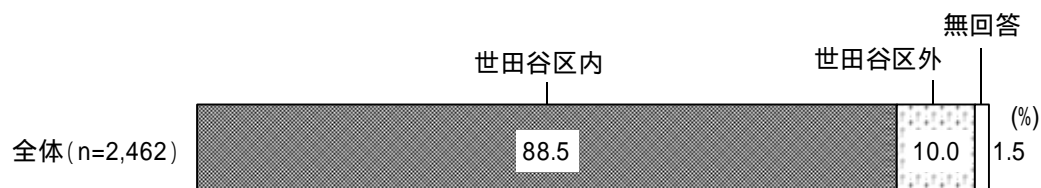


教育・保育事業の実施場所（問 12- 3）

教育・保育事業の定期的な利用がある人に対して、その教育・保育事業の実施場所をたずねたところ、「世田谷区内（88.5%）」が「世田谷区外（10.0%）」を大きく上回った（図表 1 - 4 - 5）。

図表 1 - 4 - 5 教育・保育事業の実施場所（全体）

< 教育・保育事業の定期的な利用がある人 >

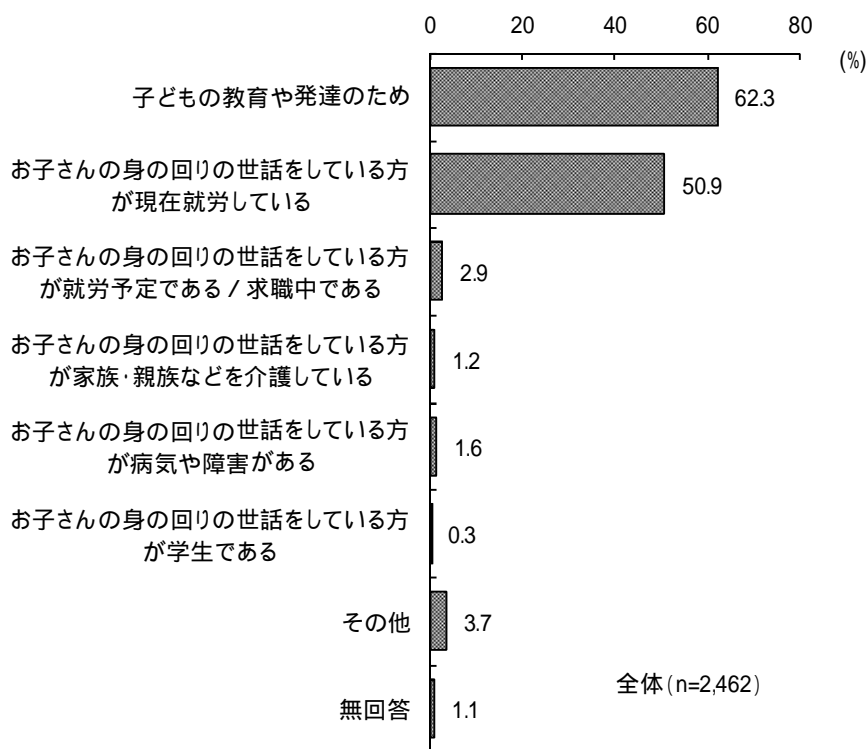


利用している理由（問 12 - 4）

同様に、利用理由をたずねたところ、「子どもの教育や発達のため（62.3%）」、「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している（50.9%）」が半数を超えた（図表 1 - 4 - 6）。

図表 1 - 4 - 6 利用している理由（全体：複数回答）

< 教育・保育事業の定期的な利用がある人 >

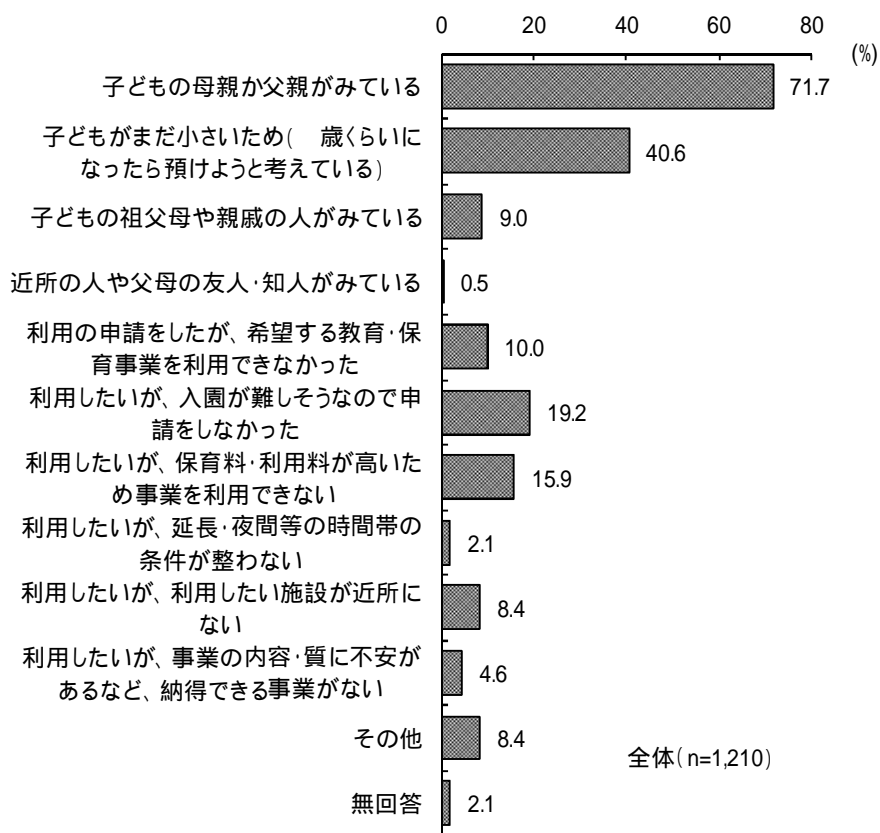


利用していない理由（問 12 - 5）

教育・保育事業の定期的な利用がない人に対して、利用していない理由をたずねたところ、「子どもの母親か父親がみている（71.7%）」、「子どもがまだ小さいため（歳くらいになったら預けようと考えている）（40.6%）」、「利用したいが、入園が難しそうなので申請をしなかった（19.2%）」、「利用したいが、保育料・利用料が高いため事業を利用できない（15.9%）」などが多かった（図表 1 - 4 - 7）。

図表 1 - 4 - 7 利用していない理由（全体：複数回答）

< 教育・保育事業の定期的な利用がない人 >



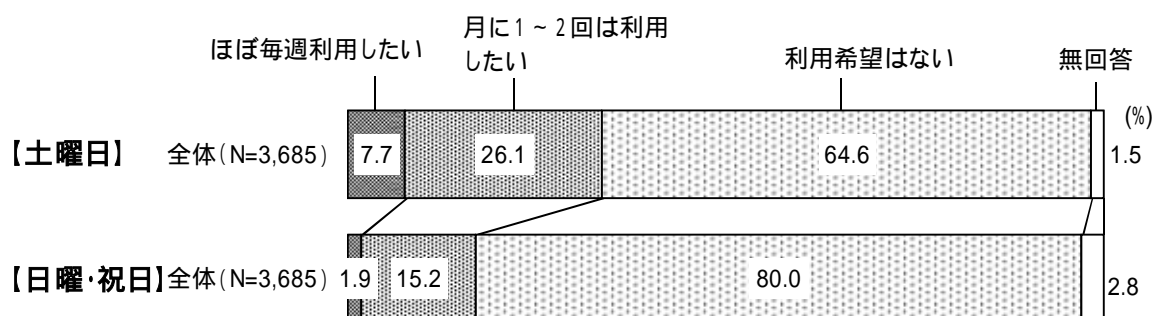
(5) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望 (問 13)

利用希望

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望は、土曜、日曜・祝日とも「利用希望はない(それぞれ 64.6%、80.0%)」とする回答が最も多かった。土曜日については、「月に1～2回は利用したい」とする回答も 26.1%あった(図表 1-5-1-)。

図表 1-5-1- 利用希望 (全体)

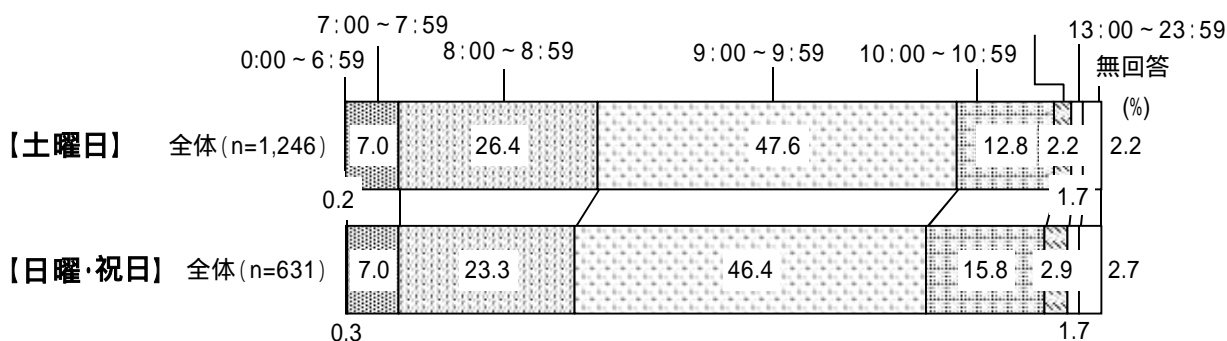


利用開始希望時間帯

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望のある人の利用開始希望時間帯は、土曜日、日曜・祝日とも「9:00～9:59(それぞれ 47.6%、46.4%)」、「8:00～8:59(それぞれ 26.4%、23.3%)」が多かった(図表 1-5-1-)。

図表 1-5-1- 利用開始希望時間帯 (全体)

<土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人>

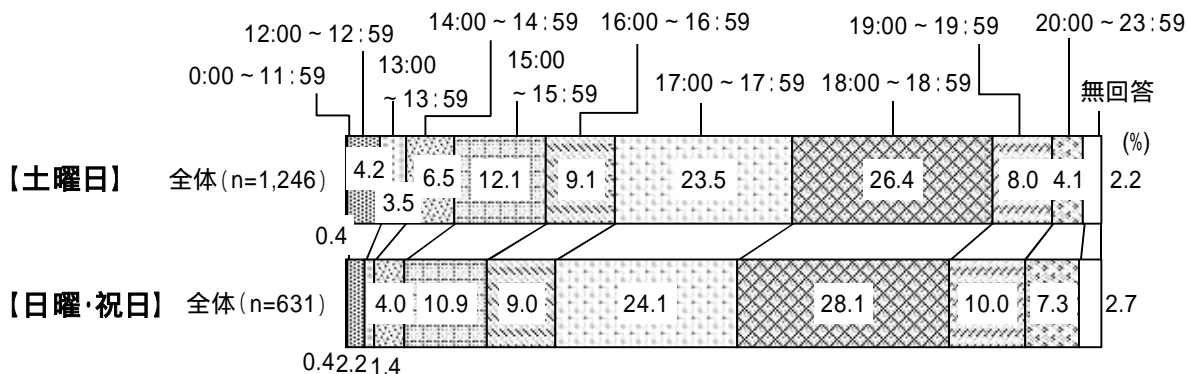


利用終了希望時間帯

土曜日と日曜・祝日の教育・保育の事業の定期的な利用希望のある人の利用終了希望時間帯は、土曜日、日曜・祝日とも「18:00～18:59（それぞれ26.4%、28.1%）」、「17:00～17:59（それぞれ23.5%、24.1%）」が多かった（図表1-5-1- ）。

図表1-5-1- 利用終了時間帯（全体）

<土曜日と日曜・祝日に教育・保育事業の定期的な利用希望がある人>

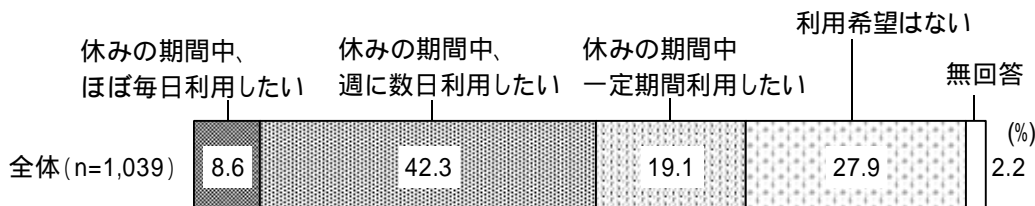


長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（問14）

「幼稚園」を利用している人に対して、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望を聞いたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい（42.3%）」、「利用希望はない（27.9%）」、「休みの期間中、一定期間利用したい（19.1%）」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（8.6%）」の順となった（図表1-5-2- ）。

図表1-5-2- 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（全体）

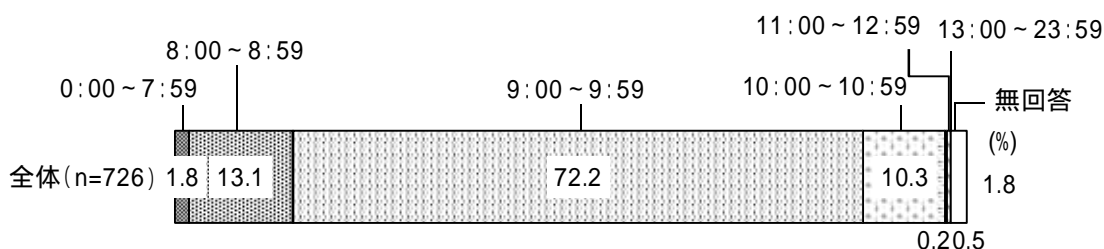
<あて名の子どもが幼稚園を利用している人>



利用開始希望時間帯

長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある人に対して、利用開始希望時間帯をたずねたところ、「9:00～9:59(72.2%)」、「8:00～8:59(13.1%)」、「10:00～10:59(10.3%)」の順となった(図表1-5-2-)。

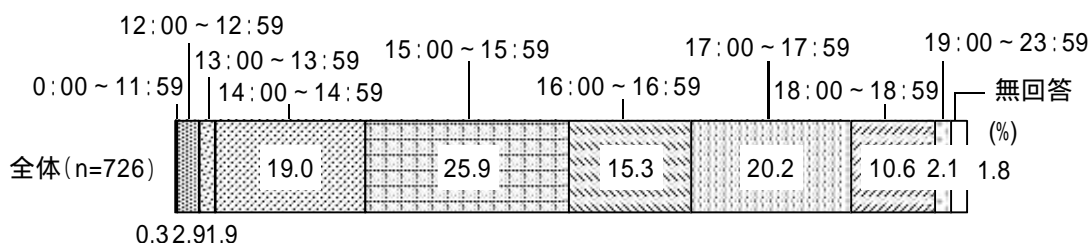
図表1-5-2- 利用開始希望時間(全体)
 <長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある人>



利用終了希望時間帯

長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある人に対して、利用終了希望時間帯をたずねたところ、「15:00～15:59(25.9%)」、「17:00～17:59(20.2%)」、「14:00～14:59(19.0%)」の順となった(図表1-5-2-)。

図表1-5-2- 利用終了希望時間(全体)
 <長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある人>



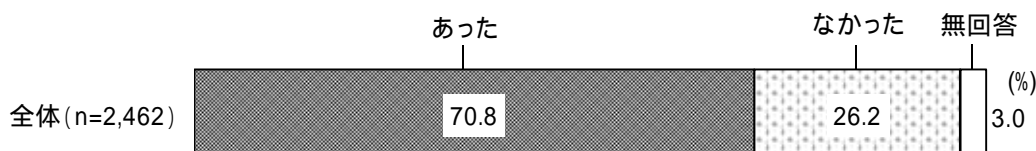
(6) 病気やケガの時の保育

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無(問15)

教育・保育事業を利用している保護者に対して、この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無をたずねたところ、「あった(70.8%)」が「なかった(26.2%)」を上回った(図表1-6-1)。

図表1-6-1 この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことの有無(全体)

<教育・保育事業の定期的な利用がある人>

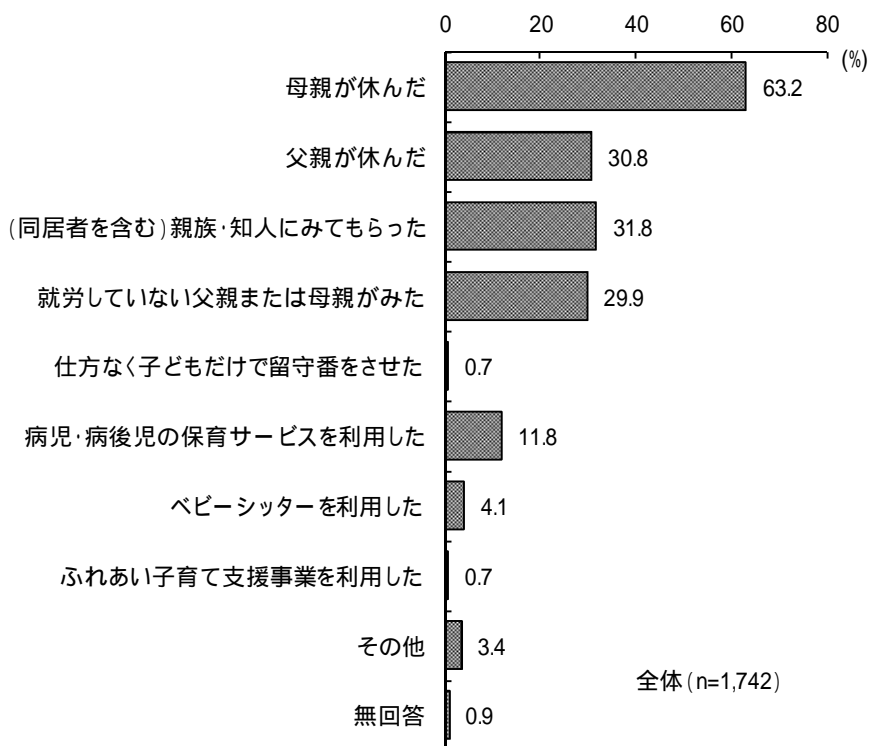


対処方法（問 15 - 1）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある人に対して、一年あたりの対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ（63.2%）」、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった（31.8%）」、「父親が休んだ（30.8%）」、「就労していない父親または母親がみた（29.9%）」などが多かった（図表1 - 6 - 2 - ）。

図表1 - 6 - 2 - あたりの対処方法（全体：複数回答）

<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかったことがある人>



対処方法別日数

それぞれの対処方法をとった人にその年間日数をたずねたところ、『母親が休んだ』では11日以上が17.0%となっており、平均日数は8.4日となっている。また、『病児・病後児の保育サービスを利用した』の平均日数は4.9日となっている（図表1-6-2- ）。

図表1-6-2- 対処方法別日数（全体）

<それぞれ対処方法をとった人>

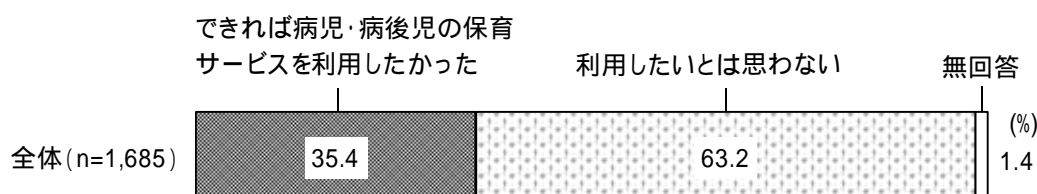
	(%)											平均日数
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上	
母親が休んだ (n=1,101)	6.1	8.8	12.2	3.1	18.3	32.3	5.9	6.4	4.7	2.2		8.4日
父親が休んだ (n= 536)	20.5	18.7	21.3	6.0	19.4	10.1	0.9	0.9	0.4	1.9		3.8日
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった (n= 554)	11.0	14.3	13.5	3.2	17.7	21.7	5.1	6.1	3.6	3.8		7.3日
就労していない父親または母親がみた (n= 520)	5.8	7.5	14.0	4.0	17.5	32.5	4.6	5.4	4.4	4.2		8.2日
仕方なく子どもだけで留守番をさせた (n= 13)	23.1	15.4	30.8	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0		3.5日
病児・病後児の保育サービスを利用した (n= 206)	21.8	13.1	17.5	4.9	15.5	16.5	3.4	2.4	1.5	3.4		4.9日
ベビーシッターを利用した (n= 71)	21.1	18.3	12.7	1.4	18.3	18.3	2.8	1.4	1.4	4.2		5.3日
ふれあい子育て支援事業を利用した (n= 12)	50.0	25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		2.9日
その他 (n= 59)	8.5	8.5	11.9	1.7	5.1	25.4	8.5	8.5	3.4	18.6		10.8日

病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無（問15-2）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人に対して、病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無をたずねたところ、「利用したいとは思わない（63.2%）」が、「できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった（35.2%）」を上回った（図表1-6-3- ）。

図表1-6-3- 病児・病後児の保育サービスを利用したいと思ったことの有無（全体）

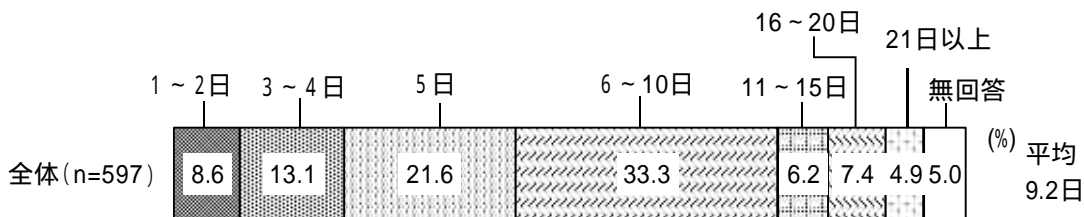
<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、両親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったり、子どもだけで留守番したりした人>



利用したい場合の1年あたりの日数

前問で、サービスを利用したかったと回答したものについて、1年あたりの希望回数をたずねたところ、「6～10日(33.3%)」、「5日(21.6%)」、「3～4日(13.1%)」などの回答が多かった(図表1-6-3-)。

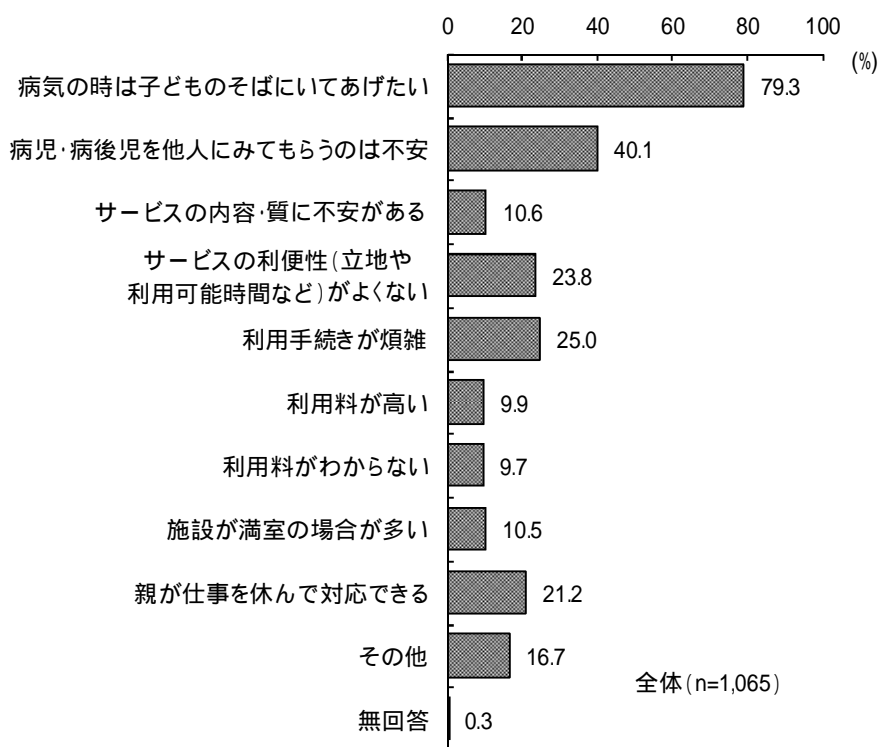
図表1-6-3- 利用したい場合の1年あたりの日数(全体)
 <できれば病児・病後児の保育サービスを利用したかった人>



利用したくない理由(問15-3)

前問で、サービスを利用したいとは思わなかったと回答した人に対して、利用したくない理由をたずねたところ、「病気の時は子どものそばにいてあげたい(79.3%)」、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安(40.1%)」、「利用手続きが煩雑(25.0%)」、「サービスの利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない(23.8%)」などが多かった(図表1-6-4)。

図表1-6-4 利用したくない理由(全体:複数回答)
 <病児・病後児の保育サービスを利用したくない人>

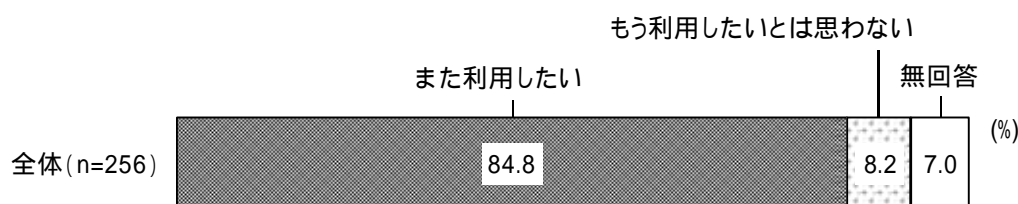


今後の利用希望の有無（問 15 - 4）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、病児・病後児の保育サービス、ベビーシッター、ふれあい子育て支援事業等のサービスを利用した人に対して、今後の利用希望の有無をたずねたところ、「また利用したい（84.8%）」が「もう利用したいとは思わない（8.2%）」を大きく上回った（図表1 - 6 - 5 - ）。

図表1 - 6 - 5 - 今後の利用希望の有無（全体）

<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、病児・病後児の保育サービス、ベビーシッター、ふれあい子育て支援事業等のサービスを利用した人>

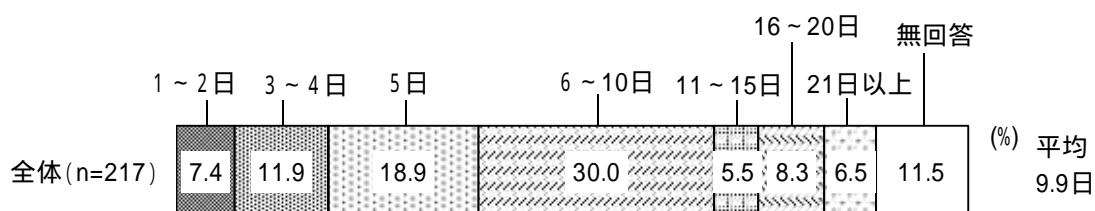


利用したい一年あたりの日数

前問で、「また利用したい」と回答した人の、利用したい一年あたりの日数は、「6～10日（30.0%）」、「5日（18.9%）」、「3～4日（11.9%）」などが多かった（図表1 - 6 - 5 - ）。

図表1 - 6 - 5 - 利用したい一年あたりの日数（全体）

<また利用したいと回答した人>

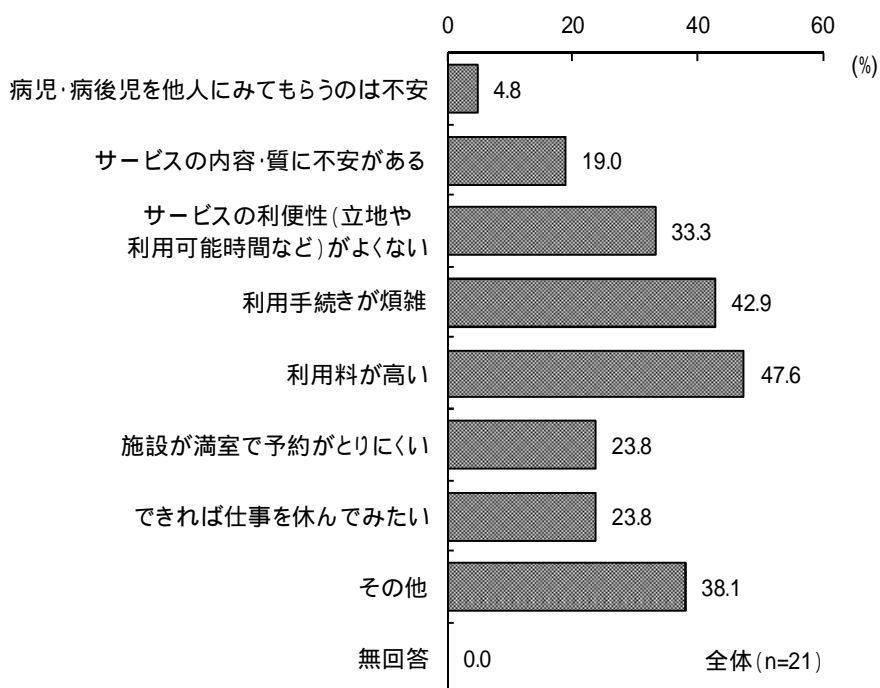


利用したいと思わない理由（問 15 - 5）

この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、病児・病後児の保育サービス、ベビーシッター、ふれあい子育て支援事業等のサービスを利用したが、今後は利用したくない人に対して、利用したいと思わない理由をたずねたところ、「利用料が高い（47.6%）」、「利用手続きが煩雑（42.9%）」、「サービスの利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない（33.3%）」などが多かった（図表1 - 6 - 6）。

図表1 - 6 - 6 利用したいと思わない理由（全体：複数回答）

<この1年間、病気やケガで教育・保育事業を利用できなかった時に、病児・病後児の保育サービス、ベビーシッター、ふれあい子育て支援事業等のサービスを利用したけれど、今後は利用したくない人>

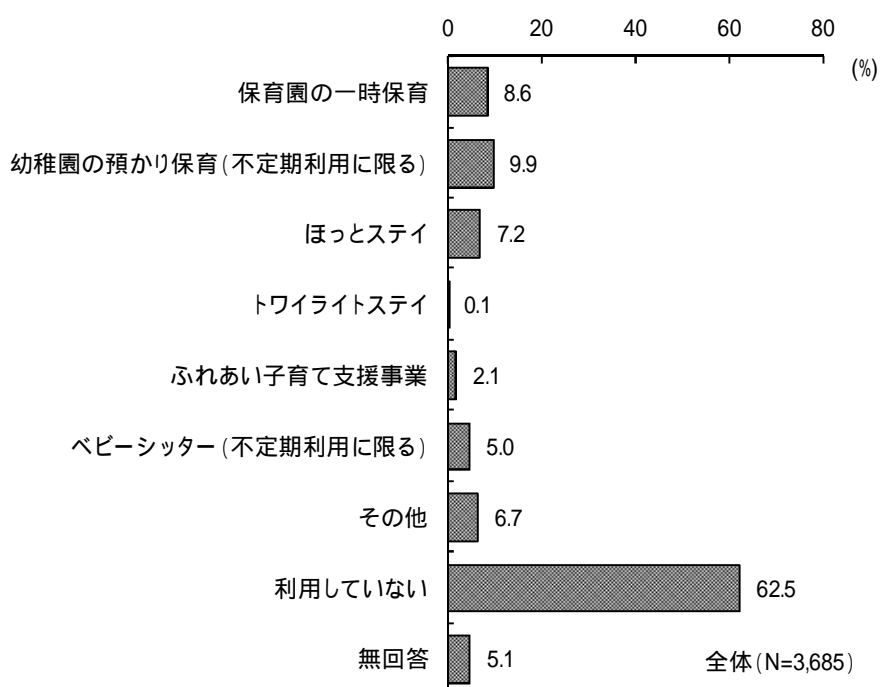


(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり

この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業(問16)

この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業の有無とその内容についてたずねたところ、「利用していない(62.5%)」が最も多く、「幼稚園の預かり保育(不定期利用に限る)(9.9%)」、「保育園の一時保育(8.6%)」、「ほっとステイ(7.2%)」などがそれに続いている(図表1-7-1-)。

図表1-7-1- この1年間、自分の時間等のために子どもを家族・親族、友人・知人以外に一時的に預けたときに利用した事業(全体:複数回答)



この1年間の一時預かりの利用日数

それぞれの一時預かりを利用した人に、この1年間の利用日数をたずねたところ、『保育園の一時保育』は平均18.1日、『幼稚園の預かり保育(不定期に限る)』は平均15.7日、『ほっとステイ』は平均13.3日、『ふれあい子育て支援事業』は平均12.1日、『ベビーシッター(不定期利用に限る)』は平均11.7日となっている(図表1-7-1-)。

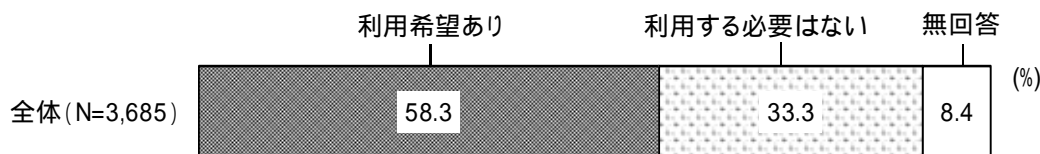
図表1-7-1- この1年間の一時預かりの利用日数(全体) <それぞれ利用した人>

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	無回答	平均日数
保育園の一時保育 (n=316)	11.7	10.8	10.4	7.6	10.8	16.8	3.2	7.6	9.8	5.7	3.5	2.2																					18.1日
幼稚園の預かり保育(不定期に限る) (n=366)	7.1	7.1	12.6	3.8	9.8	23.2	6.8	10.4	10.9	5.5	1.6	1.1																					15.7日
ほっとステイ (n=266)	16.9	13.2	11.7	6.8	7.9	15.4	5.3	4.9	10.9	5.6	0.8	0.8																					13.3日
トワイライトステイ (n= 3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0																					11.0日
ふれあい子育て支援事業 (n= 78)	20.5	11.5	14.1	2.6	10.3	14.1	3.8	9.0	7.7	5.1	1.3	0.0																					12.1日
ベビーシッター(不定期利用に限る) (n=186)	17.2	13.4	9.1	4.3	16.7	11.8	2.7	7.5	9.7	3.8	1.1	2.7																					11.7日
その他 (n=246)	9.8	12.2	8.5	3.3	11.0	20.7	3.7	8.5	11.0	5.3	1.2	4.9																					15.6日

一時預かりの今後の利用希望の有無(問16-1)

一時預かりの今後の利用希望の有無は、「利用希望あり(58.3%)」が「利用する必要はない(33.3%)」を上回っている(図表1-7-2-)。

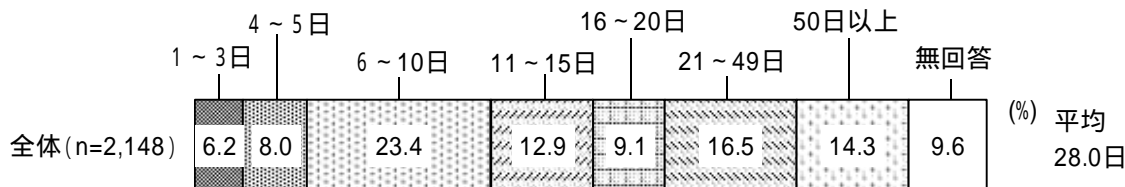
図表1-7-2- 一時預かりの今後の利用希望の有無(全体)



1年あたりの利用したい日数

利用希望がある人の1年あたりの利用したい日数は、「6日から10日(23.4%)」、「21日~49日(16.5%)」、「50日以上(14.3%)」などが多く、平均で28.0日となっている(図表1-7-2-)。

図表1-7-2- 1年あたりの利用したい日数(全体)
<一時預かりの利用希望がある人>

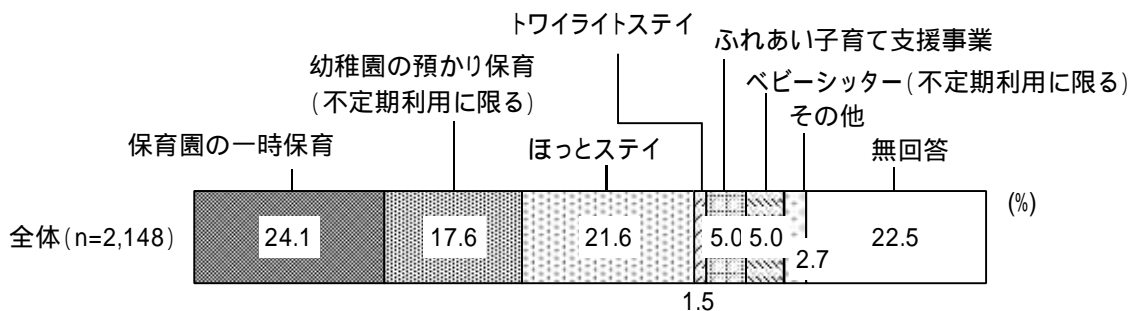


最も利用したい事業

利用希望がある人の最も利用したい事業は、「保育園の一時保育（24.1%）」、「ほっとステイ（21.6%）」、「幼稚園の預かり保育（不定期利用に限る）（17.6%）」の順で多くなっている（図表1-7-2- ）。

図表1-7-2- 最も利用したい事業（全体）

<一時預かりの利用希望がある人>

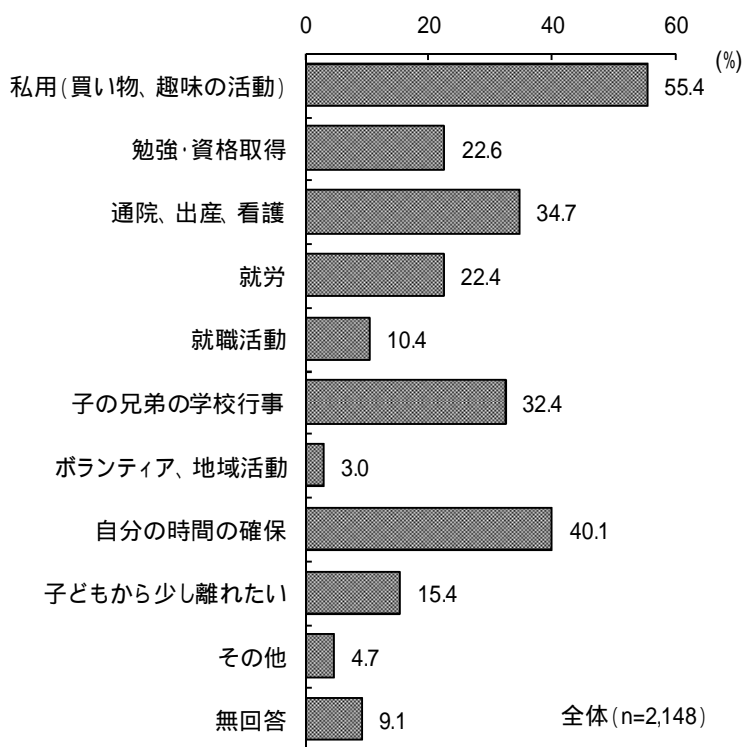


利用したい目的

利用希望がある人の利用したい目的は、「私用（買い物、趣味の活動）（55.4%）」、「自分の時間の確保（40.1%）」、「通院、出産、看護（34.7%）」、「子の兄弟の学校行事（32.4%）」などが多い（図表1-7-2- ）。

図表1-7-2- 利用したい目的（全体：複数回答）

<一時預かりの利用希望がある人>



この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（問 17）

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無は、「なかった（76.3%）」とする人が「あった（21.7%）」とする人を上回っている（図表 1 - 7 - 3 - ）。

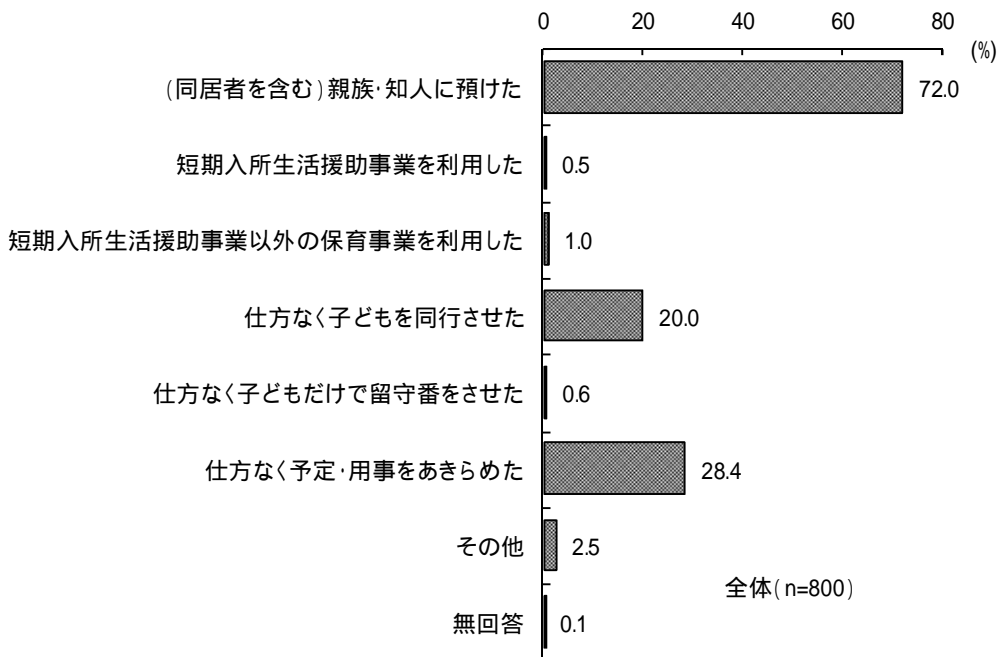
図表 1 - 7 - 3 - この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかったことの有無（全体）



対処方法

この1年間、保護者の状況により、泊りがけで家族以外に子どもを預けなければいけなかった際の対処方法としては、「（同居者を含む）親族・知人に預けた（72.0%）」、「仕方なく予定・用事をあきらめた（28.4%）」、「仕方なく子どもを同行させた（20.0%）」などが多い（図表 1 - 7 - 3 - ）。

図表 1 - 7 - 3 - 対処方法（全体：複数回答）
＜あったと回答した人＞



この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別日数

それぞれの対処方法をとった人に、この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別日数をたずねたところ、『(同居者を含む)親族知人に預けた』は11泊以上が12.1%であり、平均は6.5泊となっている。『仕方なく子どもを同行させた』は平均3.8泊、『仕方なく予定・用事をあきらめた』は平均3.7泊となっている(図表1-7-3-)。

図表1-7-3- この1年間、泊りがけで家族以外に子どもを預けたときの対処方法別日数(全体) <それぞれ対処方法をとった人>

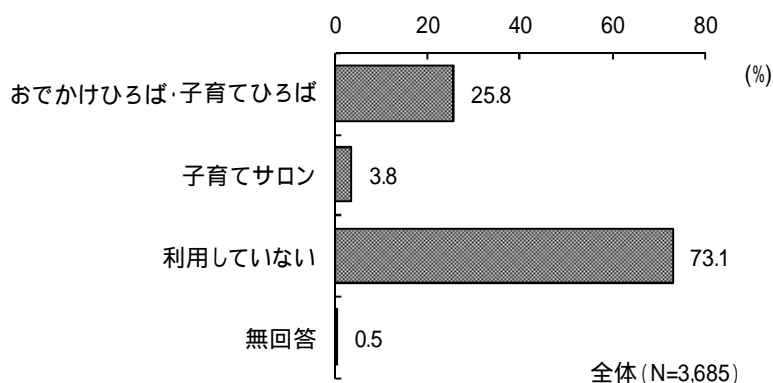
	(%)											平均宿泊数
	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6 } 1 0泊	1 } 1 5泊	1 } 6 2 0泊	2 1泊以上	無回答		
(同居者を含む)親族知人に預けた (n=576)	21.0	17.4	12.0	5.2	11.1	17.5	3.5	3.6	5.0	3.6	6.5泊	
短期入所支援事業(ショートステイ)を利用した (n= 4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	8.3泊	
短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した (n= 8)	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3泊	
仕方なく子どもを同行させた (n=160)	23.8	12.5	14.4	5.6	9.4	14.4	0.0	0.6	0.0	19.4	3.8泊	
仕方なく子どもだけで留守番させた (n= 5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	4.5泊	
仕方なく予定・用事をあきらめた (n=227)	16.3	20.3	11.5	2.2	5.3	8.4	0.4	0.4	0.9	34.4	3.7泊	
その他 (n= 20)	15.0	5.0	10.0	5.0	15.0	10.0	0.0	0.0	15.0	25.0	8.3泊	

(8) ひろば事業・子育てサロン

「おでかけひろば・子育てひろば」, 「子育てサロン」の利用の有無と頻度(問18)

「おでかけひろば・子育てひろば」, 「子育てサロン」の利用の有無についてたずねたところ、「利用していない(73.1%)」が最も多かったが、「おでかけひろば・子育てひろば」が25.8%、「子育てサロン」が3.8%あった(図表1-8-1-)。

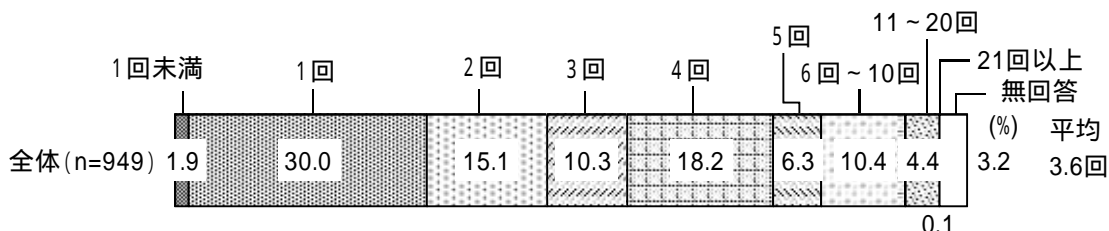
図表1-8-1- おでかけひろば・子育てひろば, 「子育てサロン」の利用の有無(全体:複数回答)



「おでかけひろば・子育てひろば」の利用頻度

「おでかけひろば・子育てひろば」の月当たりの利用回数をたずねたところ、「1回（30.0%）」、「4回（18.2%）」、「2回（15.1%）」、「6～10回（10.4%）」、「3回（10.3%）」の順が多かった。平均回数は3.6回である（図表1-8-1- ）。

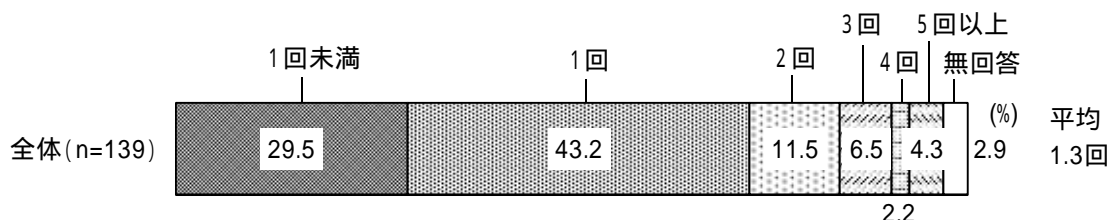
図表1-8-1- 「おでかけひろば・子育てひろば」の利用頻度（全体）
 < 「おでかけひろば・子育てひろば」を利用している人 >



「子育てサロン」の利用の頻度

「子育てサロン」の月当たりの利用回数をたずねたところ、「1回（43.2%）」、「1回未満（29.5%）」が多かった（図表1-8-1- ）。

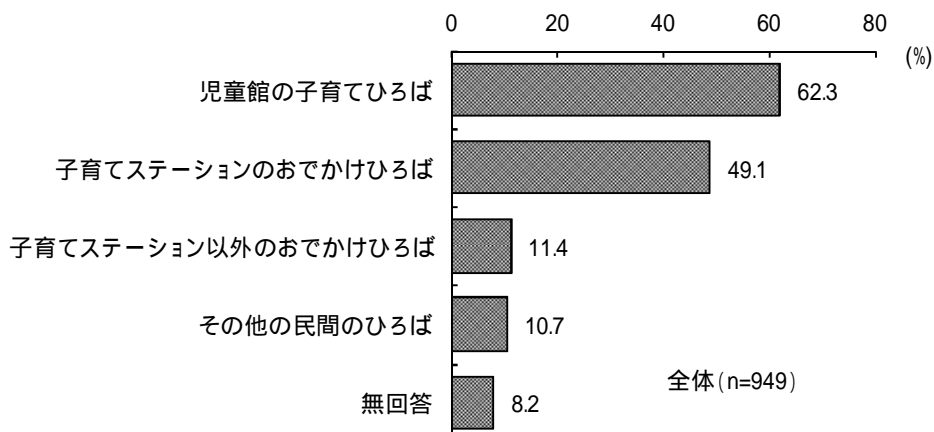
図表1-8-1- 「子育てサロン」の利用の頻度（全体）
 < 「子育てサロン」を利用している人 >



利用しているひろば

利用しているひろばは、「児童館の子育てひろば（62.3%）」、「子育てステーションのおでかけひろば（49.1%）」の2つが多かった（図表1-8-1- ）。

図表1-8-1- 利用しているひろば（全体：複数回答）
 < 「おでかけひろば・子育てひろば」を利用している人 >



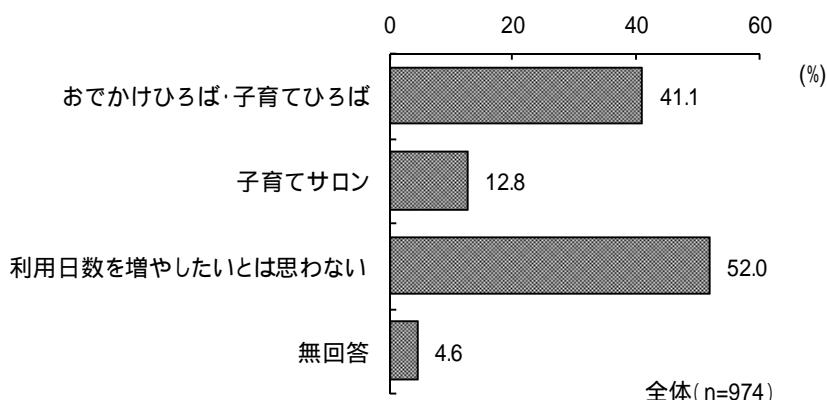
今後の利用日数増加希望の有無、1月あたりの利用希望回数（問18-1）

「おでかけひろば、子育てひろば」の今後の利用日数増加希望の有無

「おでかけひろば、子育てひろば」を現在利用している人の「おでかけひろば・子育てひろば」、「子育てサロン」利用意向は下記のとおりであり、「利用日数を増やしたいとは思わない（52.0%）」、「おでかけひろば・子育てひろば（41.1%）」、「子育てサロン（12.8%）」の順となっている（図表1-8-2- ）。

図表1-8-2- 今後の利用日数増加希望の有無（全体：複数回答）

< 「おでかけひろば、子育てひろば」を利用していると回答した人 >

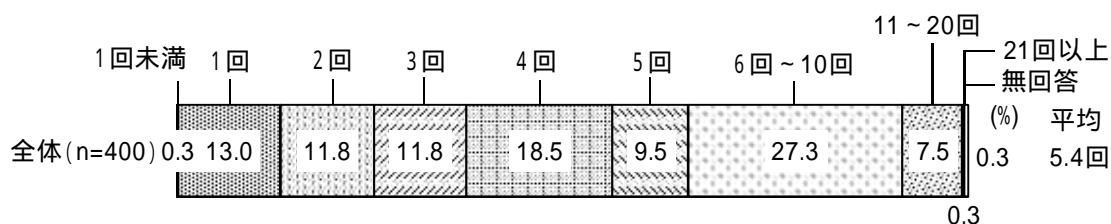


「おでかけひろば、子育てひろば」の1月あたりの利用希望回数

おでかけひろば、子育て広場の1月あたりの利用希望回数は、「6～10回（27.3%）」が多く、平均は5.4回であった（図表1-8-2- ）。

図表1-8-2- 「おでかけひろば、子育てひろば」の利用希望回数（全体）

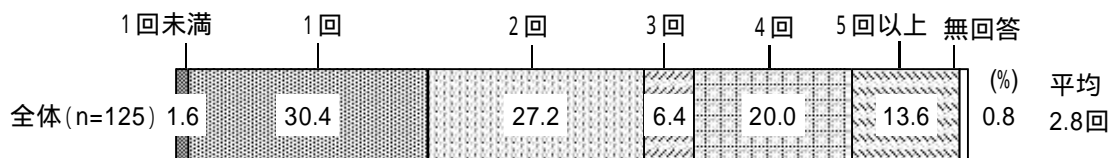
< 「おでかけひろば、子育てひろば」の利用日数を今後増やしたい人 >



「子育てサロン」の1月あたりの利用希望回数

子育てサロンの1月あたりの利用希望回数は、「1回(30.4%)」、「2回(27.2%)」が多く、平均は2.8回であった(図表1-8-2-)。

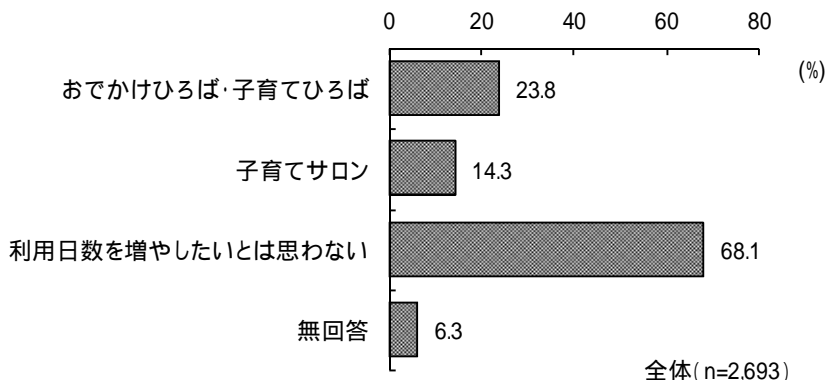
図表1-8-2- 「子育てサロン」の1月あたりの利用希望回数(全体)
 <「子育てサロン」の利用日数を今後増やしたい人>



今後利用したいひろば事業、子育てサロン(問18-2)

現在、広場事業、子育てサロンを利用していない人に対して、今後利用したいひろば事業、子育てサロンをたずねたところ、「利用日数を増やしたいとは思わない(68.1%)」が最も多く、これに「おでかけひろば・子育てひろば(23.8%)」、「子育てサロン(14.3%)」が続いている(図表1-8-3-)。

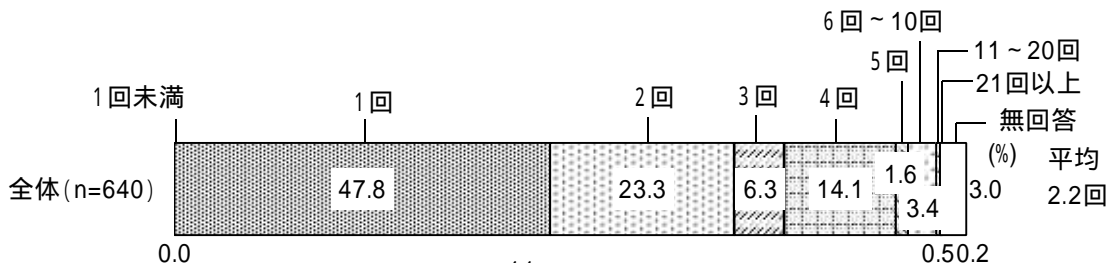
図表1-8-3- 今後利用したいひろば事業、子育てサロン(全体:複数回答)
 <「おでかけひろば、子育てひろば」や「子育てサロン」を利用していない人>



おでかけひろば、子育てひろばの1月あたりの利用希望回数

現在は利用していないが今後利用したい人の、おでかけひろば、子育てひろばの1月あたりの利用希望回数は、「1回(47.8%)」、「2回(23.3%)」が多く、平均は2.2回であった(図表1-8-3-)。

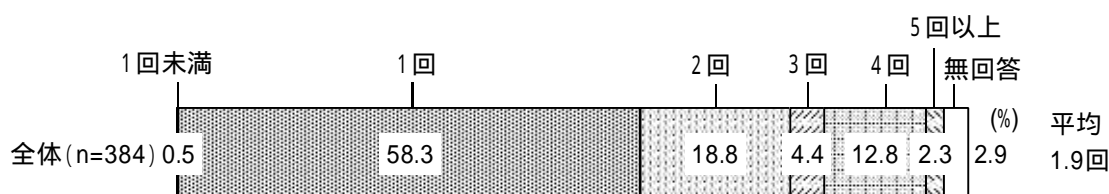
図表1-8-3- おでかけひろば、子育てひろばの1月あたりの利用希望回数(全体)
 <「おでかけひろば、子育てひろば」を今後利用したい人>



子育てサロンの1月あたりの利用希望回数

現在は利用していないが今後利用したい者の、子育てサロンの1月あたりの利用希望回数は、「1回（58.3%）」、「2回（18.8%）」が多く、平均は、1.9回であった（図表1-8-3 - ）。

図表1-8-3 子育てサロンの1月あたりの利用希望回数（全体）
 <「子育てサロン」を今後利用したい人>

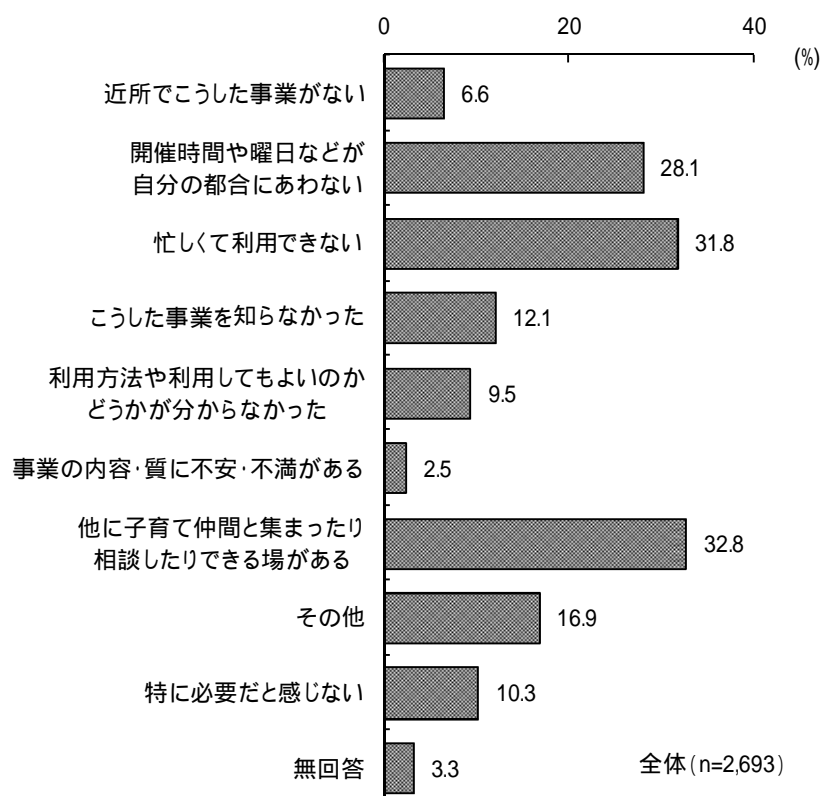


「おでかけひろば・子育てひろば」・「子育てサロン」を利用していない理由 （問18-3）

「おでかけひろば・子育てひろば」・「子育てサロン」を利用していない理由は、「他に子育て仲間と集まったり相談したりできる場がある（32.8%）」、「忙しくて利用できない（31.8%）」、「開催時間や曜日などが自分の都合にあわない（28.1%）」などが多かった（図表1-8-4）。

図表1-8-4 「おでかけひろば・子育てひろば」・「子育てサロン」を利用していない理由
 （全体：複数回答）

<「おでかけひろば、子育てひろば」や「子育てサロン」を今後利用していない人>

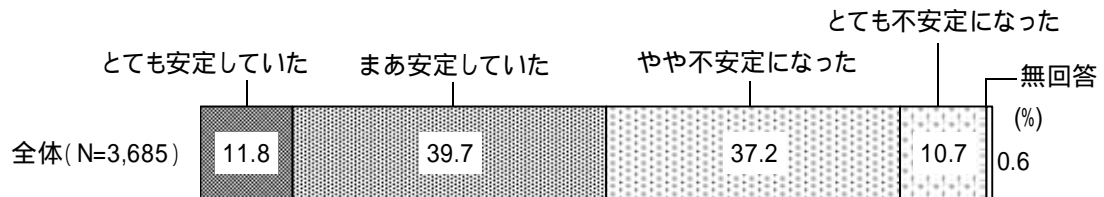


(9) 子育て全般

妊娠中や産後の精神的な安定の程度 (問 19)

妊娠中や産後の精神的な安定の程度は、「安定していた (51.5%)」という回答が「不安定になった (47.9%)」という回答を若干上回っている (図表 1 - 9 - 1)。

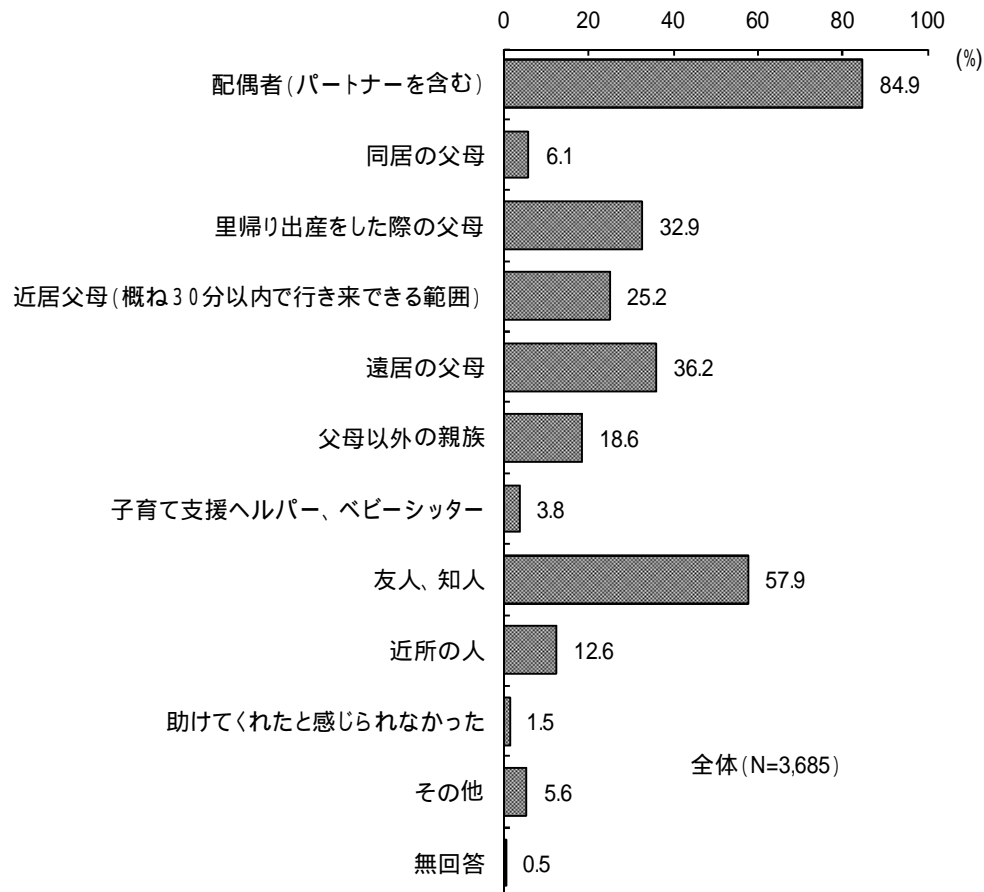
図表 1 - 9 - 1 妊娠中や産後の精神的な安定の程度 (全体)



妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人 (問 20)

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人は、「配偶者 (パートナーを含む) (84.9%)」、「友人、知人 (57.9%)」、「遠居の父母 (36.2%)」、「里帰り出産をした際の父母 (32.9%)」の順で多くなっている (図表 1 - 9 - 2)。

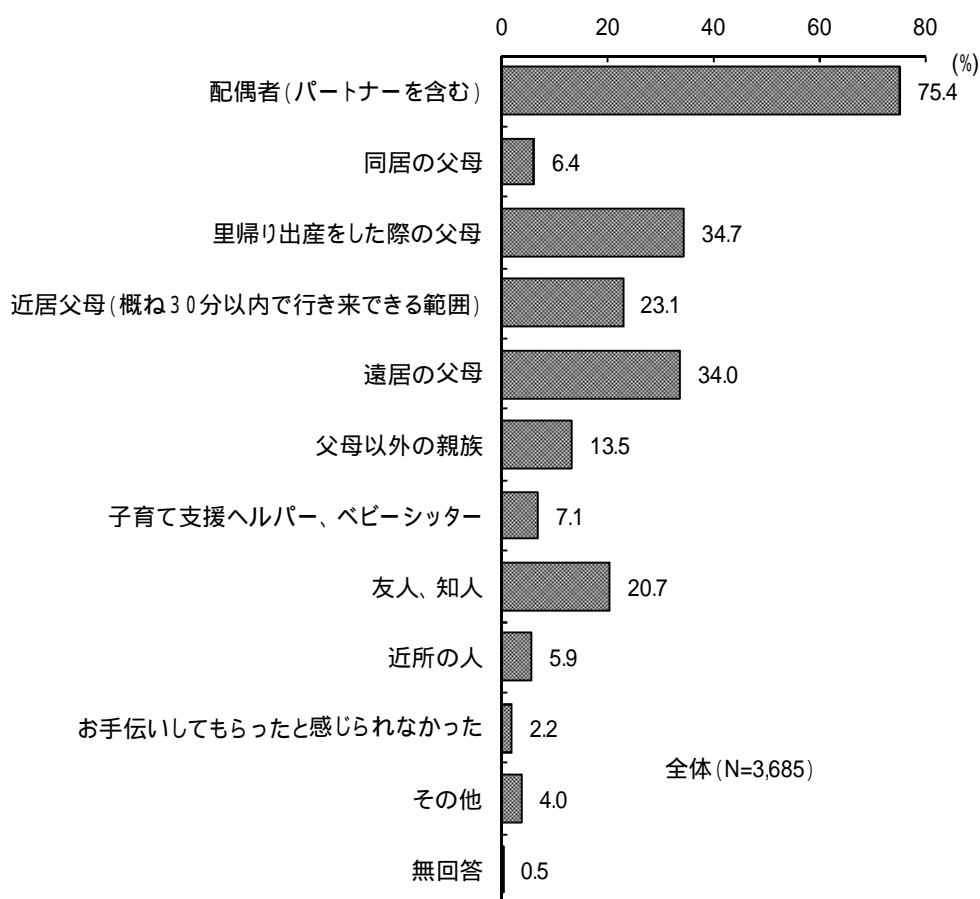
図表 1 - 9 - 2 妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、助けてくれたと感じる人 (全体：複数回答)



出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人（問 21）

出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人は、「配偶者（パートナーを含む）（75.4%）」、「里帰り出産をした際の父母（34.7%）」、「遠居の父母（34.0%）」、「近居父母（概ね30分以内で行き来できる範囲）（23.1%）」などが多い（図表1-9-3）。

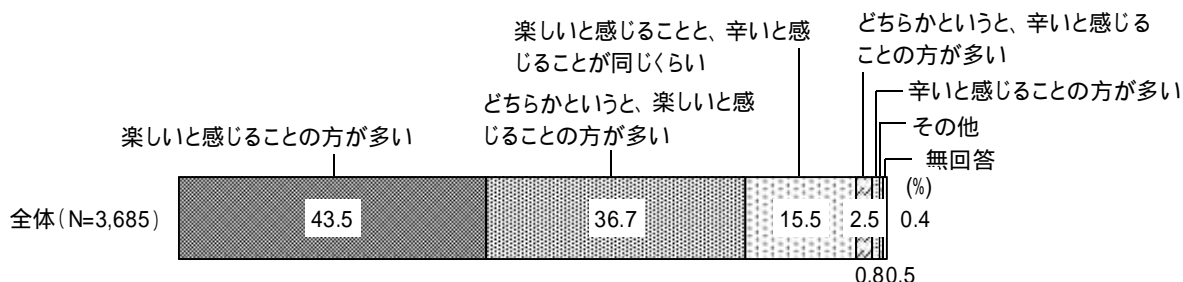
図表1-9-3 出産直後に子どもの子育てや家事を手伝ってもらったと感じる人（全体：複数回答）



子育てについて楽しいと感じる程度（問 22）

子育てについて楽しいと感じる程度は、「楽しいと感じることの方が多い（43.5%）」、「どちらかという、楽しいと感じることの方が多い（36.7%）」を合わせて80.2%であり、全体の8割以上の方が楽しいと思うことの方が多いと感じている（図表1-9-4）。

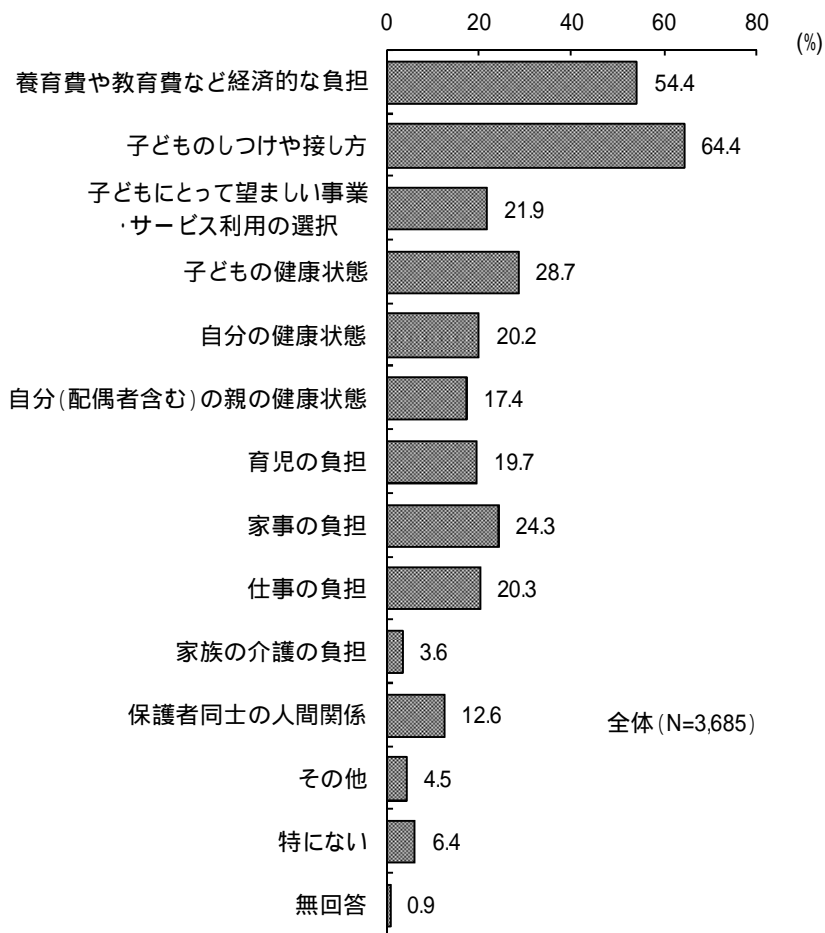
図表1-9-4 子育てについて楽しいと感じる程度（全体）



子育ての心配ごとや悩みごと（問 23）

子育ての心配ごとや悩みごとは、「子どものしつけや接し方（64.4%）」、「養育費や教育費など経済的な負担（54.4%）」、「子どもの健康状態（28.7%）」、「家事の負担（24.3%）」の順で多くなっている（図表1-9-5）。

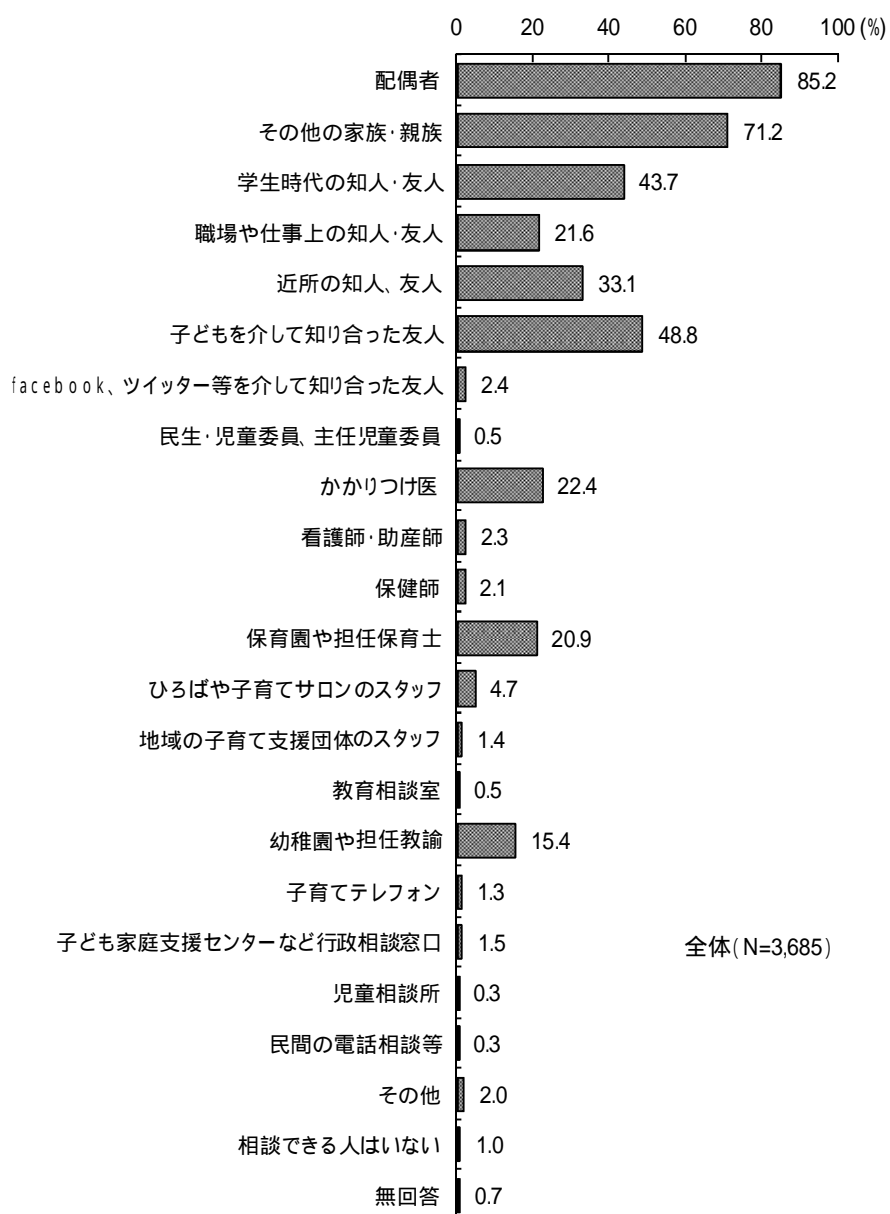
図表1-9-5 子育ての心配ごとや悩みごと（全体：複数回答）



子育ての心配ごとや悩みごとの相談先（問 24）

子育ての心配ごとや悩みごとの相談先をたずねたところ、「配偶者（85.2%）」、「その他の家族・親族（71.2%）」、「子どもを介して知り合った友人（48.8%）」、「学生時代の知人・友人（43.7%）」などの回答が多かった（図表 1 - 9 - 6）。

図表 1 - 9 - 6 子育ての心配ごとや悩みごとの相談先（全体：複数回答）



災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無（問 25）

災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無は、「近所にいる（53.6%）」として人の割合が、「近所にはいない（44.5%）」とする人の割合を若干上回っている（図表 1 - 9 - 7）。

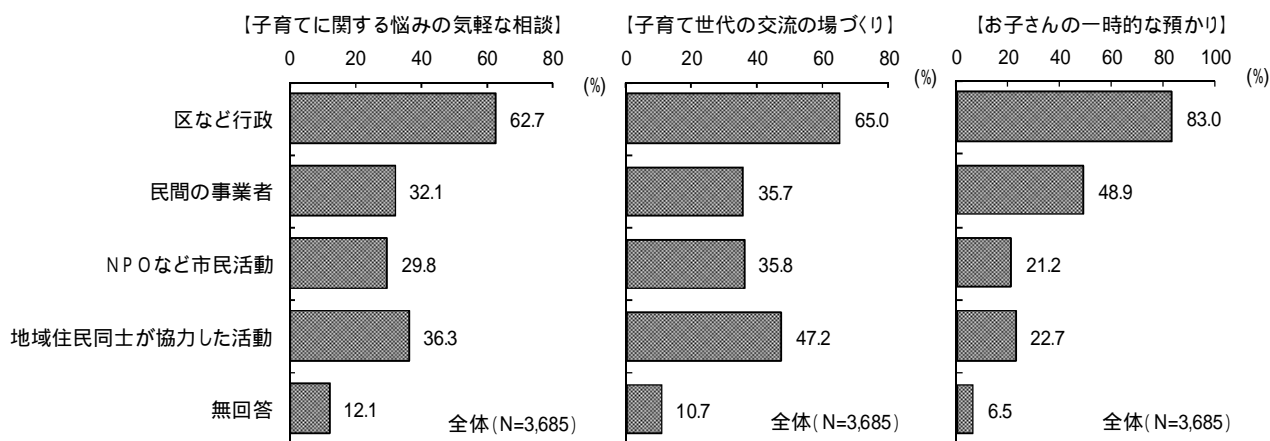
図表 1 - 9 - 7 災害時に家族以外で子どもの手助けをしてくれる近所の友人・知人の有無（全体）



子育て支援を行うべき主体（問 26）

子育て支援を行うべき主体について、『子育てに関する悩みの気軽な相談』、『子育て世代の交流の場づくり』、『お子さんの一時的な預かり』のそれぞれについて複数回答でたずねたところ、いずれについても「区など行政（それぞれ 62.7%、65.0%、83.0%）」とする回答が最も多かった。『子育てに関する悩みの気軽な相談』に関して二番目に多かったのは、「地域住民同士が協力した活動（36.3%）」であり、『子育て世代の交流の場づくり』に関して二番目に多かったのは、「地域住民同士が協力した活動（47.2%）」であり、『お子さんの一時的な預かり』に関して二番目に多かったのは、「民間の事業者（48.9%）」であった（図表 1 - 9 - 8）。

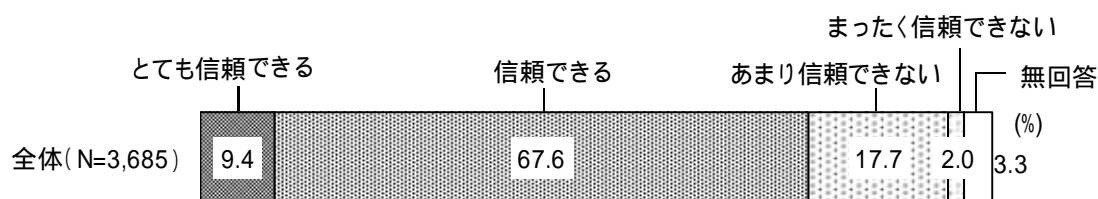
図表 1 - 9 - 8 子育て支援を行うべき主体（全体：複数回答）



保育・教育事業や子育てサービスに関する世田谷区の行政の信頼の程度（問 27）

保育・教育事業や子育てサービスに関する世田谷区行政の信頼の程度は、「とても信頼できる(9.4%)」と「信頼できる(67.6%)」合わせて、77.0%であり、「あまり信頼できない(17.7%)」と「まったく信頼できない(2.0%)」を合わせた信頼できないとする回答(19.7%)を大きく上回った(図表1-9-9)。

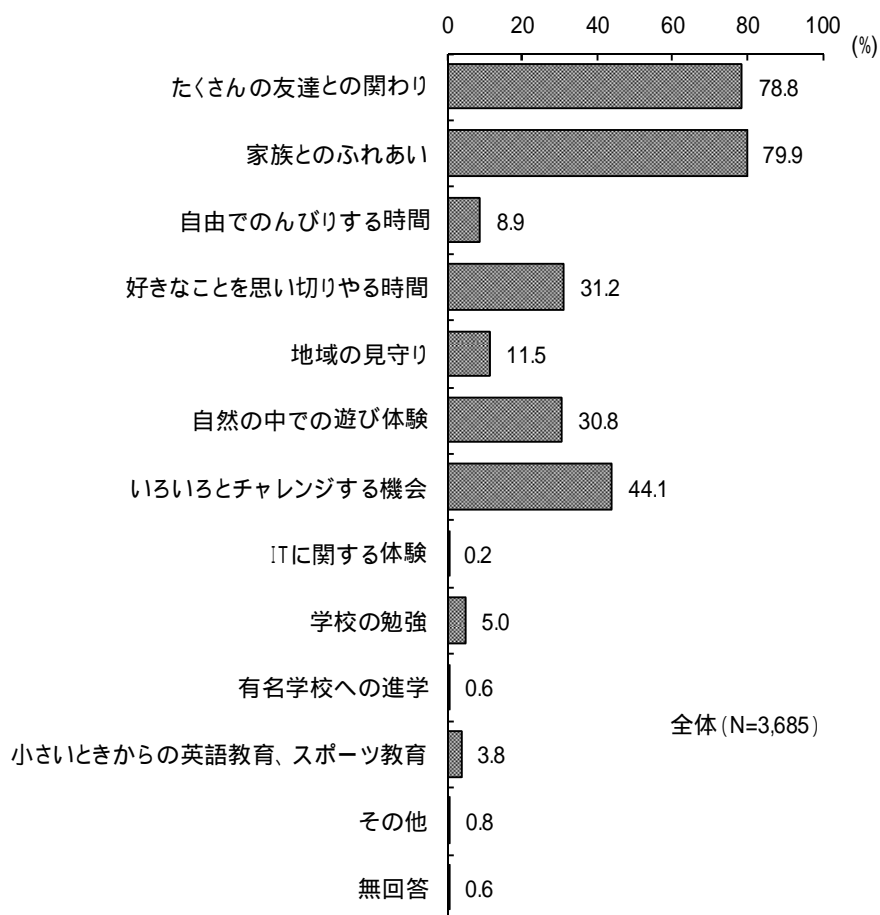
図表1-9-9 保育・教育事業や子育てサービスに関する世田谷区の行政の信頼の程度(全体)



子どもが成長するうえで大切なこと（問 28）

子どもが成長するうえで大切なことをたずねたところ、「家族とのふれあい(79.9%)」、「たくさんの友達との関わり(78.8%)」、「いろいろとチャレンジする機会(44.1%)」、「好きなことを思い切りやる時間(31.2%)」の順で多かった(図表1-9-10)。

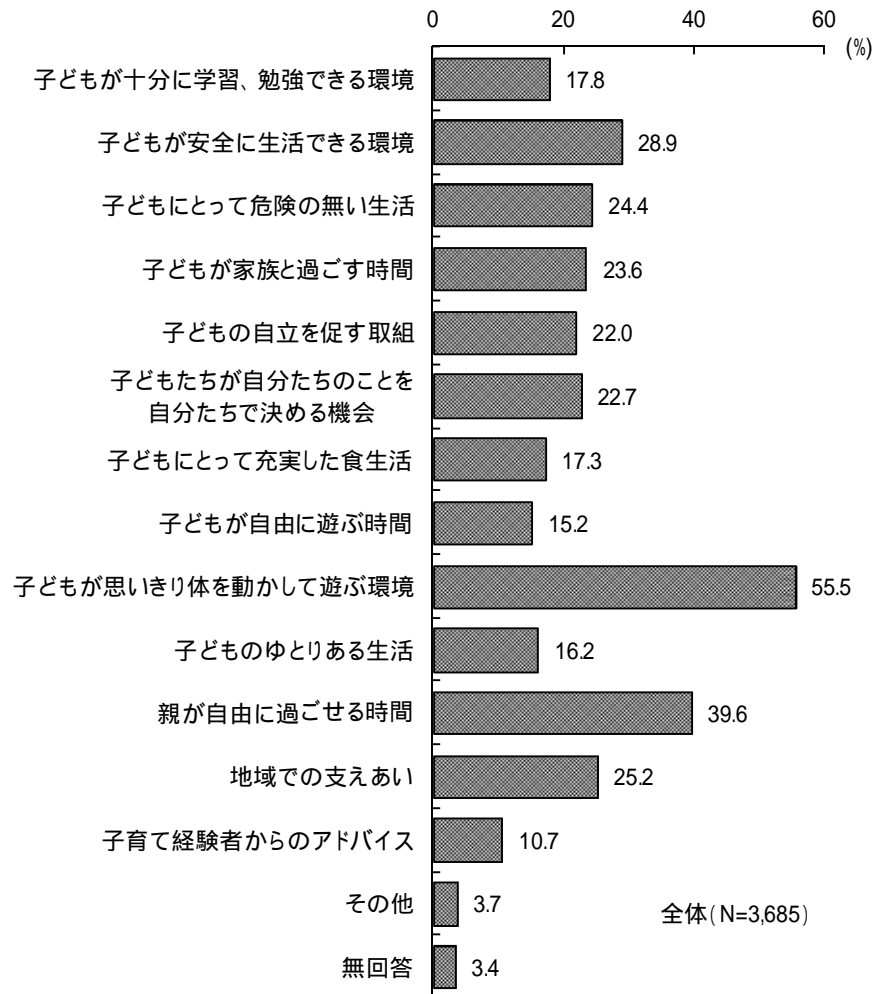
図表1-9-10 子どもが成長するうえで大切なこと(全体：複数回答(3つまで))



子育てをするうえで足りていないと感じること（問 29）

子育てをするうえで足りていないと感じることをたずねたところ、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境（55.5%）」、「親が自由に過ごせる時間（39.6%）」、「子どもが安全に生活できる環境（28.9%）」、「子どもにとって危険の無い生活（24.4%）」などの回答が多かった（図表 1 - 9 - 11）。

図表 1 - 9 - 11 子育てをするうえで足りていないと感じること（全体：複数回答）

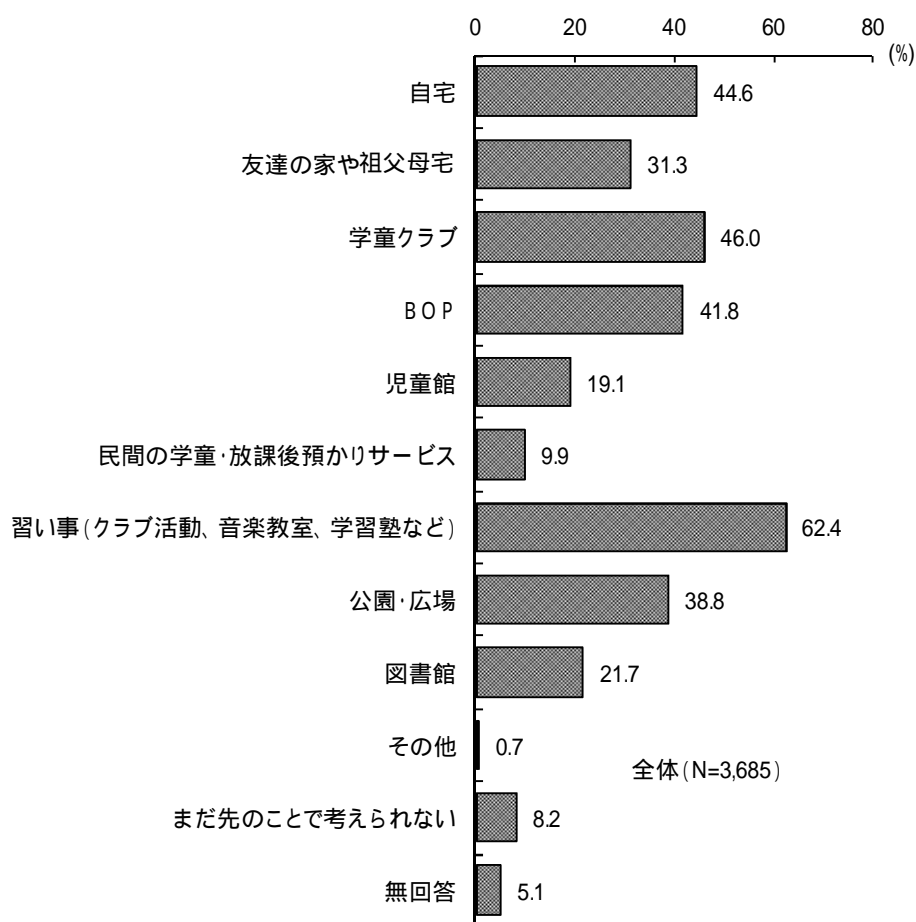


(10) 就学後の放課後の過ごし方

小学校入学後、放課後過ごす場所（問 30）

小学校入学後、放課後過ごす場所をたずねたところ、「習い事（クラブ活動、音楽教室、学習塾など）（62.4%）」が最も多く、これに「学童クラブ（46.0%）」、「自宅（44.6%）」、「BOP（41.8%）」が続いている（図表 1 - 10 - 1 - ）。

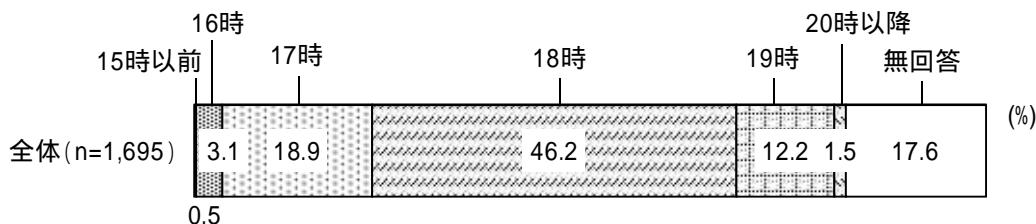
図表 1 - 10 - 1 - 小学校入学後、放課後過ごす場所（全体：複数回答）



学童クラブの希望利用終了時間

学童クラブの利用意向があると回答した人に対して、学童クラブの希望利用終了時間をたずねたところ、「18時(46.2%)」が最も多く、これに「17時(18.9%)」、「19時(12.2%)」が続いている(図表1-10-1-)。

図表1-10-1- 学童クラブの1日あたりの希望利用終了時間(全体)
<学童クラブの利用意向がある人>



小学校入学後、放課後過ごす場所の希望、1週あたり日数

それぞれの放課後を過ごす場所を希望した人に、1週あたり日数をたずねたところ、『学童クラブ』では平均3.9日、『BOP』では平均2.7日、『習い事(クラブ活動、音楽教室、学習塾など)』では平均2.0日となっている(図表1-10-1-)。

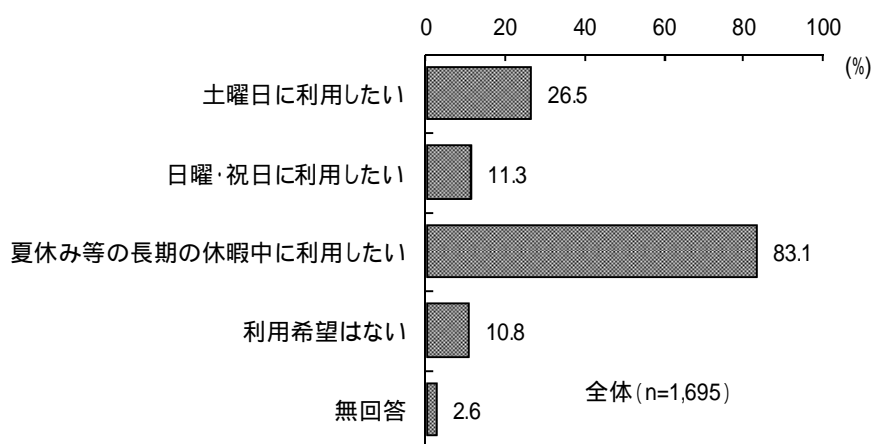
図表1-10-1- 小学校入学後、放課後過ごす場所の希望、1週あたり日数(全体)
<それぞれ希望する人>

		(%)							平均日数
		1日	2日	3日	4日	5日	無回答		
自宅	(n=1,643)	20.8	31.5	19.7	4.3	17.7	6.0	2.6日	
友達の家や祖父母宅	(n=1,153)	49.9	30.8	8.8	1.0	4.3	5.1	1.7日	
学童クラブ	(n=1,695)	6.7	10.3	16.5	4.9	49.2	12.3	3.9日	
BOP	(n=1,540)	23.8	25.5	21.1	4.2	21.1	4.3	2.7日	
児童館	(n= 704)	45.3	24.9	11.5	1.3	9.7	7.4	2.0日	
民間の学童・放課後預かりサービス	(n= 366)	14.5	18.3	12.8	4.4	44.3	5.7	3.5日	
習い事(クラブ活動、音楽教室、学習塾など)	(n=2,301)	25.1	48.5	20.6	1.8	0.9	3.1	2.0日	
公園・広場	(n=1,428)	26.4	34.5	21.9	3.9	8.8	4.5	2.3日	
図書館	(n= 800)	71.6	13.1	7.3	0.5	1.9	5.6	1.4日	
その他	(n= 24)	20.8	16.7	16.7	4.2	20.8	20.8	2.8日	

土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童クラブの利用希望（問 30 - 1）

学童クラブの利用意向がある人に対して、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童クラブの利用希望をたずねたところ、「夏休み等の長期の休暇中に利用したい（83.1%）」が最も多く、これに「土曜日に利用したい（26.5%）」、「日曜・祝日に利用したい（11.3%）」が続いている（図表 1 - 10 - 2 - ）。

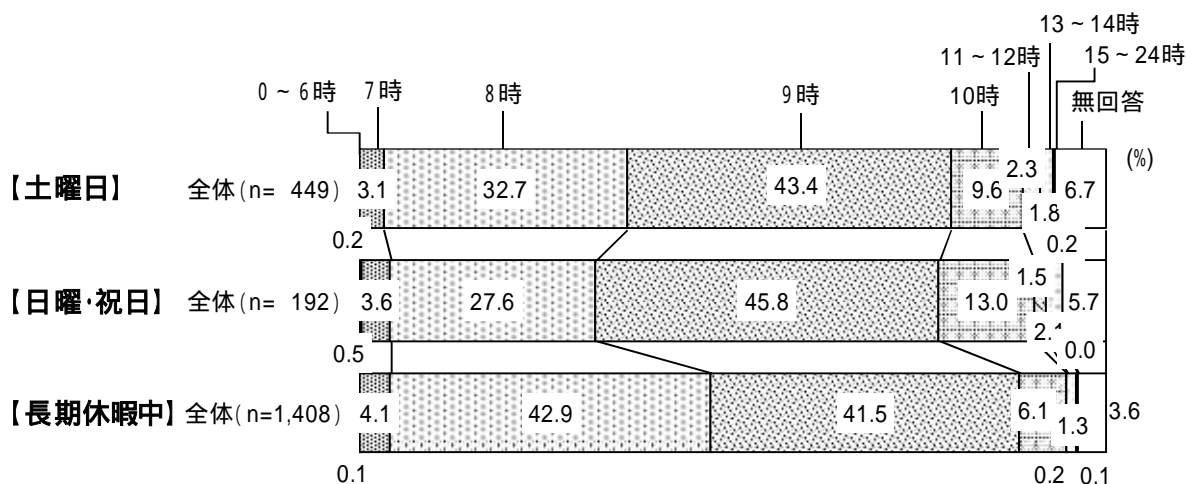
図表 1 - 10 - 2 - 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の学童クラブの利用希望
（全体：複数回答）＜学童クラブの利用意向がある人＞



利用開始希望時間帯

学童クラブの利用意向がある人に対して、利用開始希望時間帯をたずねたところ、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中いずれでも「9時」、「8時」が多かった（図表 1 - 10 - 2 - ）。

図表 1 - 10 - 2 - 利用開始希望時間帯（全体）
＜学童クラブの利用意向がある人＞

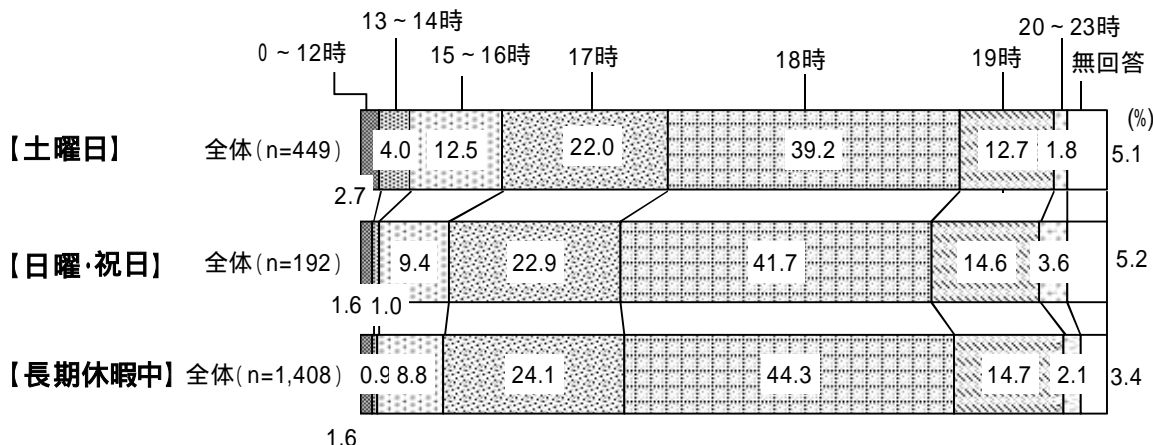


利用終了希望時間帯

学童クラブの利用意向がある人に対して、利用終了希望時間帯をたずねたところ、土曜日、日曜・祝日、長期休暇中いずれでも「18時」、「17時」が多かった（図表1-10-2- ）。

図表1-10-2- 利用終了希望時間帯（全体）

<学童クラブの利用意向がある人>

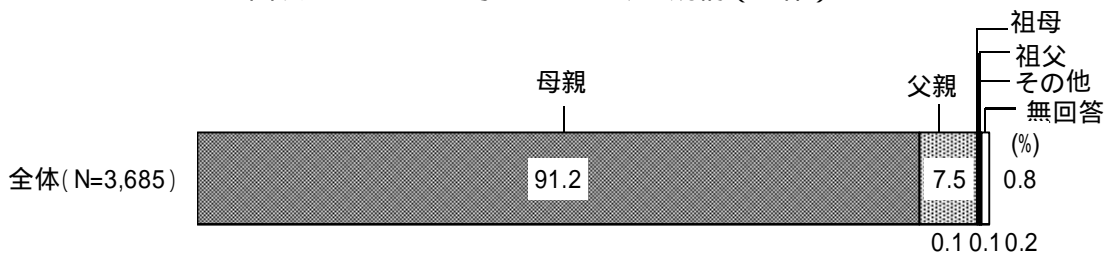


(11) 回答者の属性

子どもからみた続柄（問31）

回答者の子どもからみた続柄は、「母親」が91.2%、「父親」が7.5%となっている（図表1-11-1）。

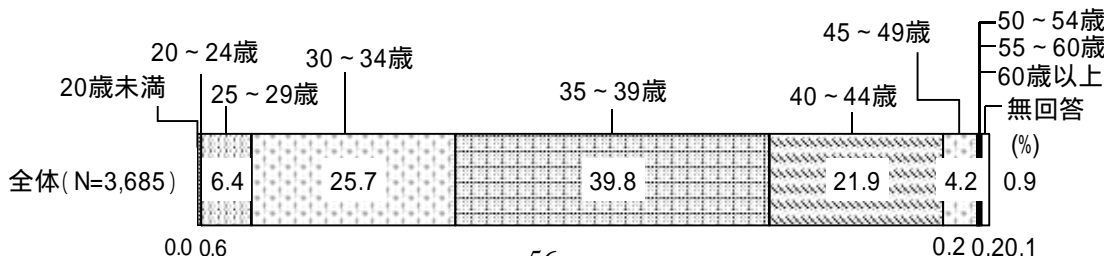
図表1-11-1 子どもからみた続柄（全体）



年代（問32）

回答者の年代は、「35～39歳（39.8%）」、「30～34歳（25.7%）」、「40～44歳（21.9%）」の順となっている（図表1-11-2）。

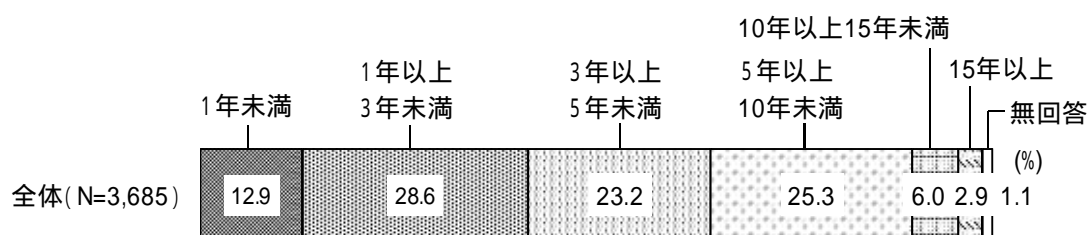
図表1-11-2 年代（全体）



現在の場所での居住年数（問 33）

現在の場所での居住年数は、「1年以上3年未満(28.6%)」、「5年以上10年未満(25.3%)」、「3年以上5年未満(23.2%)」などが多くなっている(図表1-11-3)。

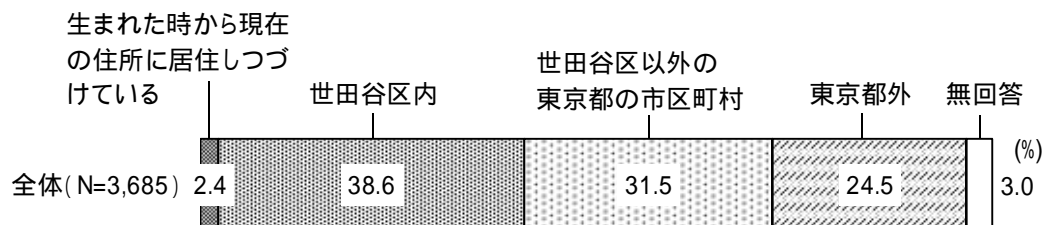
図表1-11-3 現在の場所での居住年数(全体)



現在の住所に移る前の居住地域（問 34）

現在の住所に移る前の居住地域は、世田谷区内の人が全体の41.0%、区外東京都内が31.5%、東京都外が24.5%となっている(図表1-11-4)。

図表1-11-4 現在の住所に移る前の居住地域(全体)

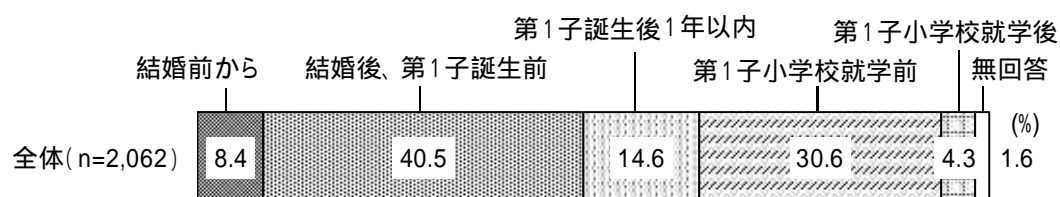


世田谷区に転入したタイミング（問 34 - 1）

現在の住所に移る前の居住地域が世田谷区以外の人で世田谷区に転入したタイミングは、「結婚後、第1子誕生前(40.5%)」、「第1子小学校就学前(30.6%)」のケースが多い。(図表1-11-5)

図表1-11-5 世田谷区に転入したタイミング(全体)

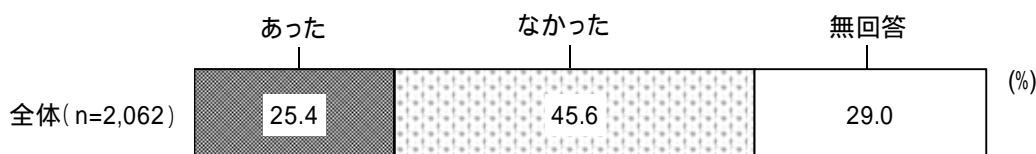
<現在の住所に移る前の居住地域が世田谷区以外の人>



世田谷区に転入した理由に子育て環境への期待・情報等の有無（問 34 - 2）

第1子が未就学児の時に世田谷区に転入した人に対して、世田谷区に転入した理由に子育て環境への期待・情報等はあったかについてたずねたところ、「なかった（45.6%）」が「あった（25.4%）」を上回った（図表1-11-6）。

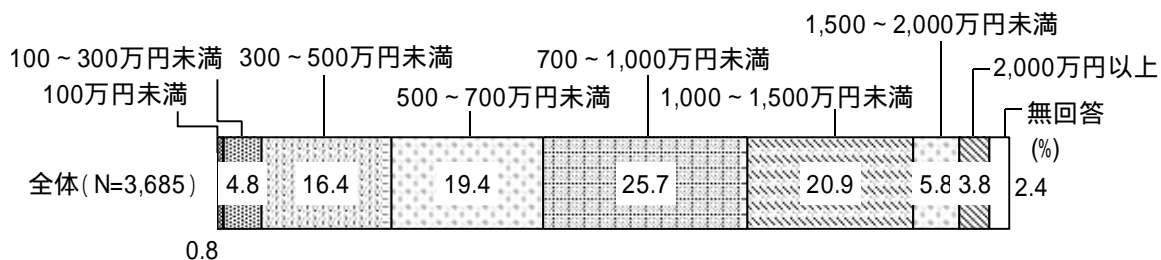
図表1-11-6 世田谷区に転入した理由に子育て環境への期待・情報等の有無（全体）
 < 第1子が未就学児の時に世田谷区に転入した人 >



世帯収入（問 35）

世帯収入は、「700～1000万円未満（25.7%）」、「1,000～1,500万円未満（20.9%）」、「500～700万円未満（19.4%）」などが多くなっている（図表1-11-7）。

図表1-11-7 世帯収入（全体）



(12) 世田谷区での子育て

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（問 36）

世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度は、「とても子育てしやすいと感じる（12.3%）」と「子育てしやすいと感じる（60.9%）」を合わせて、子育てしやすいと感じる人が73.2%となっている。「あまり子育てしやすいと感じない（22.3%）」と「まったく子育てしやすいと感じない（2.9%）」を合わせた否定的な回答は、25.2%であった（図表1 - 12 - 1）。

図表1 - 12 - 1 世田谷区を子育てしやすいまちと感じる程度（全体）

